

人びとと社会の現在地を把握

クオリティ・オブ・ソサエティ 指標2025

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先

qsociety@dentsusoken.com

担当：山崎、中川、増田、岡田、鷺見

g-pr@group.dentsusoken.com

コーポレートコミュニケーション部



目次

I. 「社会の質」に関する人びとの評価

- 1. 現在の社会の質に対する評価 P. 7
- 2. 目指すべき社会像から見られる期待 P. 9
- 3. 評価と期待 P. 12
- 4. DX有効感 P. 15

II. 社会に対する人びとの意識の現在地

- 1. 個人の能動性・自律性 P. 20
- 2. 社会集団の協調性・互助性 P. 33
- 3. 社会制度の信頼性・耐久性 P. 39

調査概要

- 調査時期 : 2025年6月23日～6月30日
- 調査方法 : インターネット調査
- 対象地域 : 全国
- 対象者 : 18～79歳の男女 ※学生を含む
- サンプル数 : 12,000名（都道府県×性年代の人口構成比に合わせて回収）

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

- 業種排除 : なし
- 調査会社 : 電通マクロミルインサイト

※調査結果の各割合は回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しているため、各割合の単純合算数値が必ずしも100%にならない場合があります。

クオリティ・オブ・ソサエティ指標について

株式会社電通総研 ヒューマノロジー創発本部 Quality of Societyセンターは、2019年以来、毎年、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えるために定量調査「クオリティ・オブ・ソサエティ指標」をおこなっています。2025年6月、全国12,000名を対象に「クオリティ・オブ・ソサエティ指標2025」を実施いたしました。

本調査は、主に二つの項目群から構成されます。

一つは「社会の質」に対する人びとの現在の認識と選好される社会の方向性を探るための項目群で、生活や社会への「実感」「評価」「目指すべき社会像」「DX有効感」について尋ねています。

もう一つは「個人」「家族・コミュニティ」「社会」の視点から、人びとの意識における社会の現在地を捉えようとするための項目群です。今年にはAIやロボットが生活や仕事に与える影響への意識についての項目を追加しました。

本レポートでは、時系列による変化も一部でご紹介しながら、調査結果をまとめました。

多くの分野において、人びとの意識の変化は緩やかであり、前年比較だけではその変化を捉えにくいものです。

しかし、わずかな変化の積み重ねによって5年～10年単位で人びとの意識が大きく変わっていくこともあります。

そのような変化の兆しを捉え、社会におけるさまざまな問題への気づきを得て

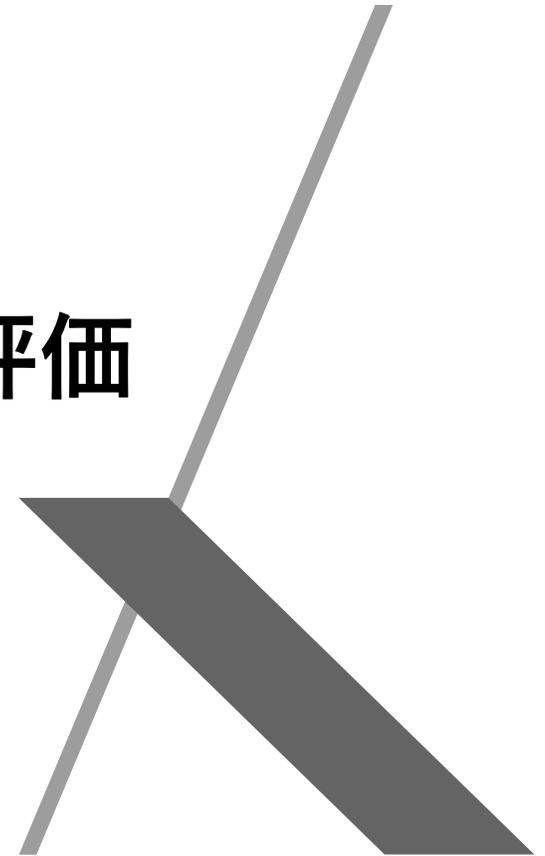
望ましい未来に向けた議論の一助となることを狙いとして、今後も本調査を継続してまいります。

<お願い>

本調査は電通総研の著作物です。

調査データの引用・使用をご希望される場合には、お手数ではございますが、表紙記載のお問い合わせ先へご一報ください。

1. 「社会の質」に関する人びとの評価



生活や社会についての「実感」と、「社会の質」についての「評価」を次の評価項目で計測しています。

生活や社会についての「実感」

余力

希望

安心（不安なし）

指標 カテゴリー	項目
余力	S1 自分には心の余裕（余力）がある
	S2 自分の家計には余裕（余力）がある
	S3 自分の住む地域社会には人的、財政的な余裕（余力）がある
	S4 日本には人的、財政的な余裕（余力）がある
希望	S5 自分の生活や仕事には希望がある
	S6 自分の住む地域社会には希望がある
	S7 日本には希望がある
	S8 世界には希望がある
安心	S9 自分の生活や仕事には不安がない
	S10 自分の住む地域社会には不安がない
	S11 日本には不安がない
	S12 世界には不安がない

※指標カテゴリーの「安心」は調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向をそろえるために、本レポートでは選択肢を上記のように変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

「社会の質」についての「評価」

社会のベース

社会関係資本

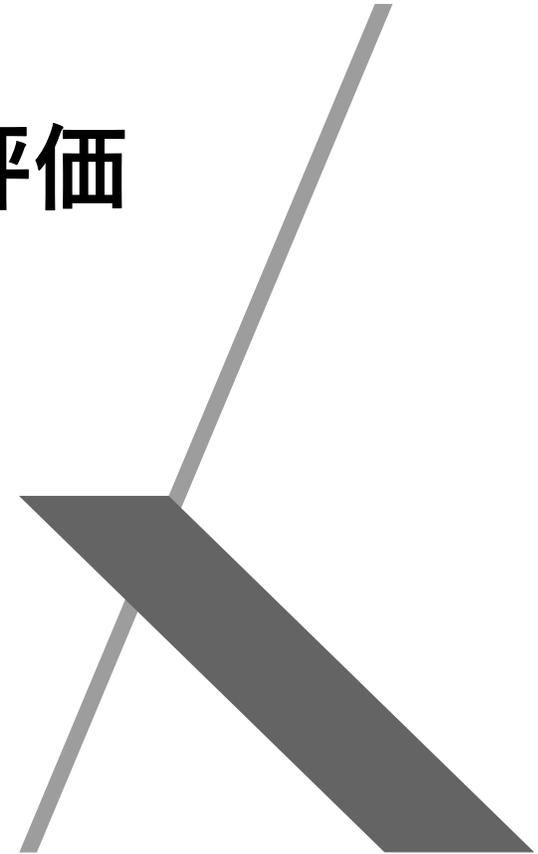
インクルージョン

社会の活力

指標 カテゴリー	項目
社会の ベース	S1 日本では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している
	S2 日本は、子を持ち、育てやすい環境が整っている
	S3 日本は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている
	S4 日本は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある
社会関係 資本	S5 自分は、家族以外に信頼できる人がいる
	S6 日本は、他者への信頼感が高い社会である
	S7 日本では、人びとは日常的にお互い助け合っている
	S8 日本では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる
インクルー ジョン	S9 日本では、教育や就業について機会の平等が実現されている
	S10 日本では、多様な価値観・生き方が尊重されている
	S11 日本では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である
	S12 日本では、子どもの権利が守られている ※ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、 ②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと
社会の活力	S13 日本では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる
	S14 日本社会は、一人一人の力で変えることができる
	S15 日本社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる
	S16 日本の社会や経済には活力がある

※ピーター・ヘルマンなど有識者による「社会的質」に関する先行研究を参照しながら「社会の質」を構成する4つの要素を電通総研でオリジナルに定義しました。

1. 現在の社会の質に対する評価

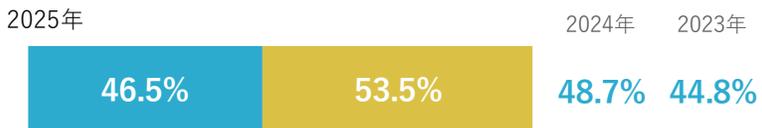


生活や社会についての「実感」

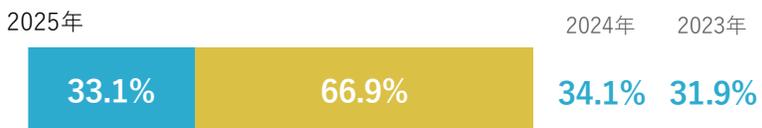
Q6： 現在の世界や日本社会、ご自身の生活についておうかがいします。
次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

余力

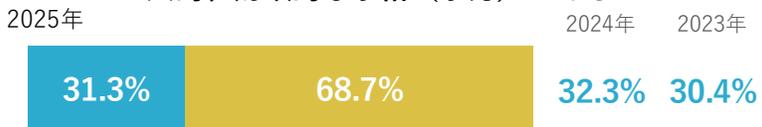
自分には心の余裕（余力）がある



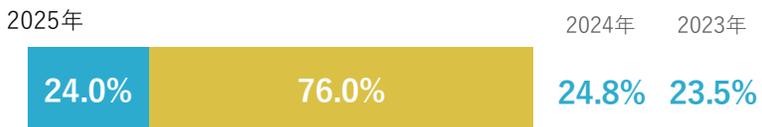
自分の家計には余裕（余力）がある



自分の住む地域社会には 人的、財政的な余裕（余力）がある

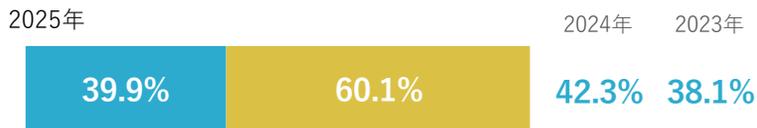


日本には人的、財政的な余裕（余力）がある

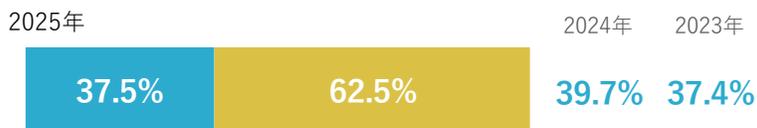


希望

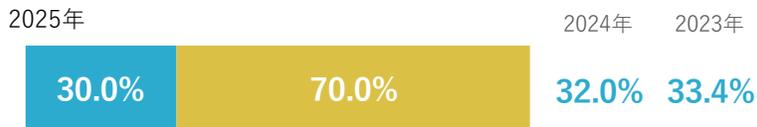
自分の生活や仕事には希望がある



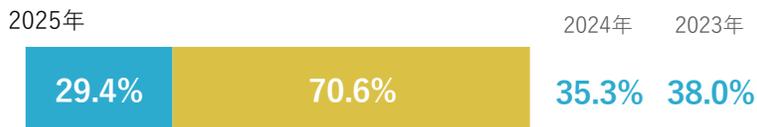
自分の住む地域社会には希望がある



日本には希望がある

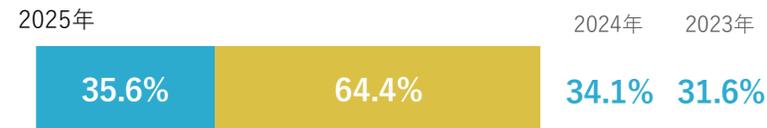


世界には希望がある

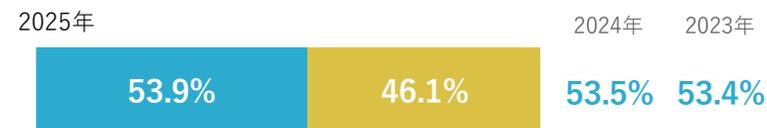


安心

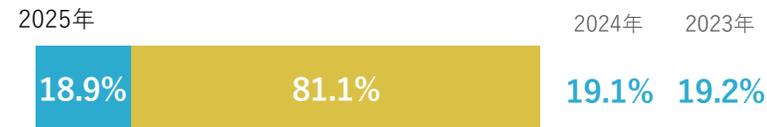
自分の生活や仕事には不安がない



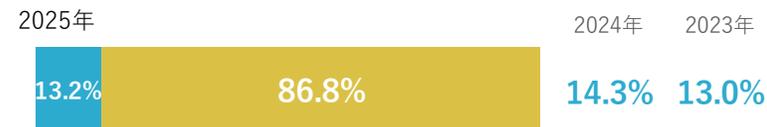
自分の住む地域社会には不安がない



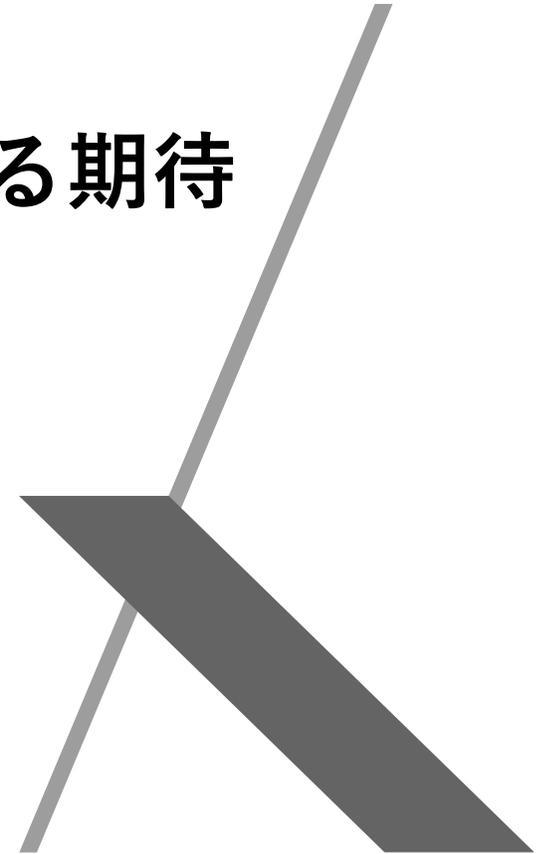
日本には不安がない



世界には不安がない



2. 目指すべき社会像から見られる期待



目指すべき社会像（1）

Q10：次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

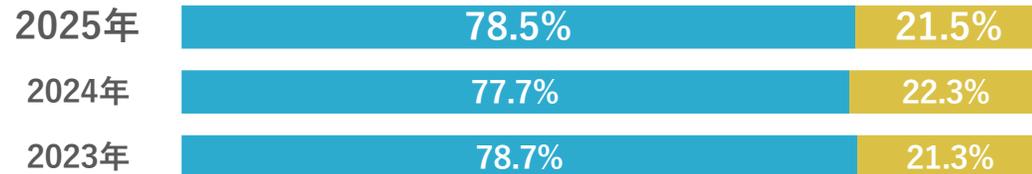
環境

【A】

日本は、経済力の維持と地球規模の環境問題解決の両立を目指すべきだ

【B】

日本は、経済力の維持よりも地球規模の環境問題解決を重視して取り組むべきだ



統治システム

【A】

日本は、政治・経済・文化などの重要な機能が、少数の大都市に効率的に集中している「一極集中型」社会を目指すべきだ

【B】

日本は、コミュニティ・経済などの機能が集約されている地域が多数存在し、地域ごとの文化や生活に多様性があり、リスクも分散できる「多極型」社会を目指すべきだ



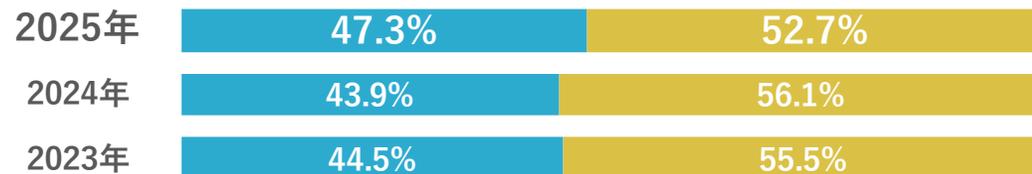
国際協力

【A】

日本は、他国と協調してグローバルな社会課題を解決することを優先すべきだ

【B】

日本は、自国の力で自国の社会問題を解決することを優先すべきだ



行政改革

【A】

人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、日本政府が多くの権限を持ち、決定すべきだ

【B】

人びとの生活に密接に関わる行政サービスについて、日本政府は各自治体に多くの権限を移譲すべきだ



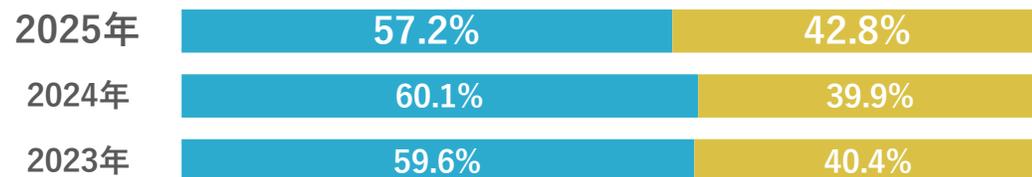
目指すべき社会像（2）

Q10：次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

セーフティネットか税負担少か

【A】
日本は、個人の税負担は大きいですが、福祉などの行政サービスが充実した社会を目指すべきだ

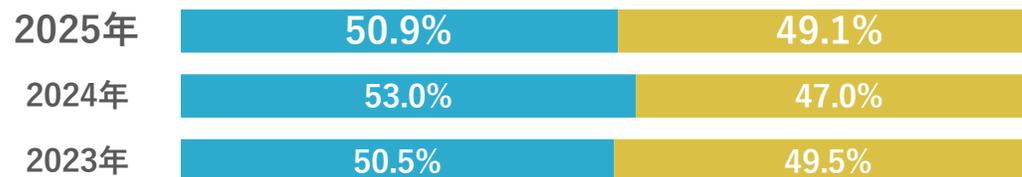
【B】
日本は、福祉などの行政サービスを必要最小限に絞り、税負担の少ない社会を目指すべきだ



平等か成果か

【A】
日本は、働いた成果とあまり関係なく、貧富の差が少ない平等な社会を目指すべきだ

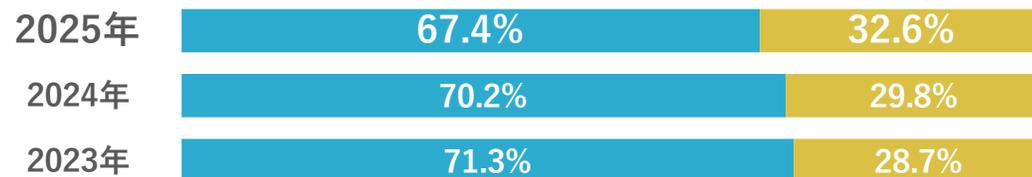
【B】
日本は、自由に競争し、成果に応じて分配される社会を目指すべきだ



他者への寛容

【A】
個人の自律性を重んじて、他者の行動に対して寛容な態度をとるべきだ

【B】
社会全体の視点を重んじて、他者の行動に対して厳しい態度をとるべきだ



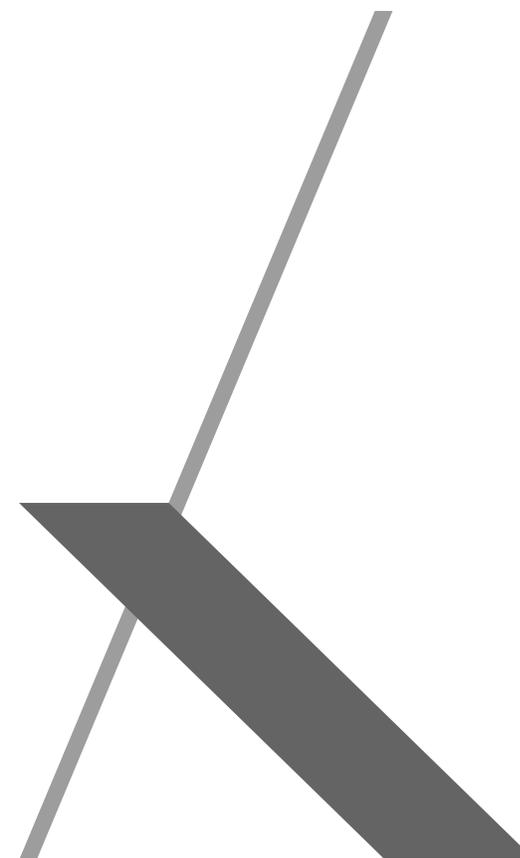
人口減少社会

【A】
日本は、人口を維持するために、出生数を増やすべきだ

【B】
日本は、人口が減ることを前提に、社会のあり方を考えるべきだ



3. 評価と期待

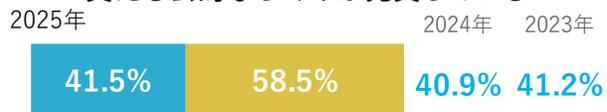


「社会の質」についての「評価」

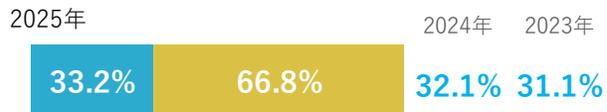
Q7：現在の日本社会やご自身の生活についておうかがいします。
次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いもの一つずつお選びください。【単一回答】

社会のベース

日本では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している



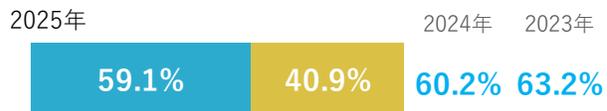
日本は、子をもち、育てやすい環境が整っている



日本は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている

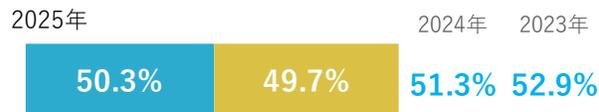


日本は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある

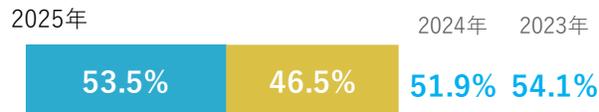


社会関係資本

自分は、家族以外に信頼できる人がいる



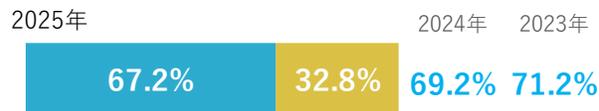
日本は、他者への信頼感が高い社会である



日本では、人びとは日常的にお互い助け合っている

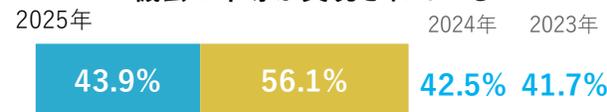


日本では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる

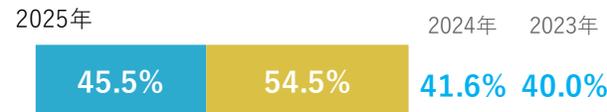


インクルージョン

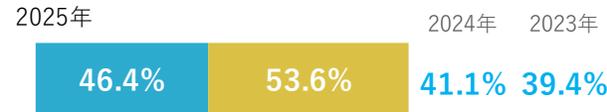
日本では、教育や就業について機会の平等が実現されている



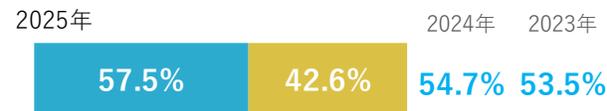
日本では、多様な価値観・生き方が尊重されている



日本では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である



日本では、子どもの権利*1が守られている

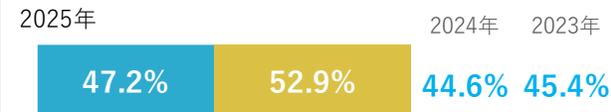


社会の活力

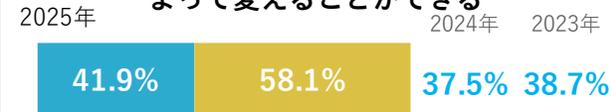
日本では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる



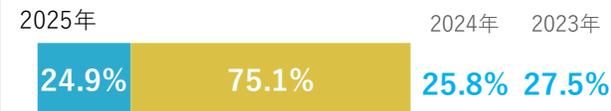
日本社会は、一人一人の力で変えることができる



日本社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる



日本の社会や経済には活力がある



*1 ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

※2024年、2023年のスコアはそう思う計

【基数：対象者全員（n=12,000）】 ■：そう思う計（そう思う+ややそう思う） / ■：そう思わない計（あまりそう思わない+そう思わない）

目指すべき社会像から見られる「期待」

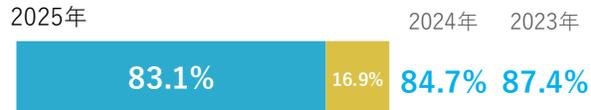
Q8：目指すべき日本社会やご自身の生活についておうかがいします。
次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

社会のベース

人びとの生活の安定を支える
公的なしくみを充実させるべきだ



子をもち、育てやすい環境を整えるべきだ



大震災、感染症、気候変動による災害、
インフラの老朽化など、さまざまなリスクに
対して十分な対応を整えるべきだ

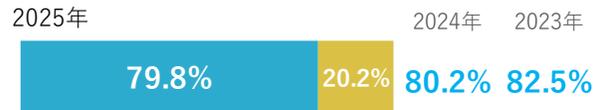


社会や経済が大きなダメージを受けても
復興・復旧する力を備えるべきだ

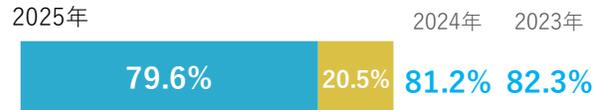


社会関係資本

家族以外に信頼できる人がいてほしい



他者への信頼感が高い社会であるべきだ



人びとは日常적으로お互い助け合うべきだ



非常事態が発生した時に
お互い助け合う社会であるべきだ

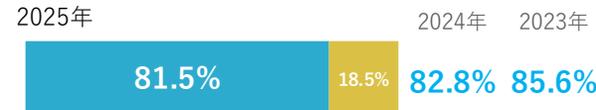


インクルージョン

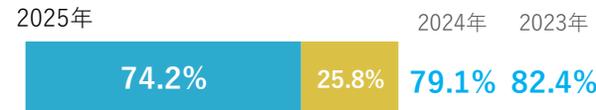
教育や就業について
機会の平等が実現されるべきだ



多様な価値観・生き方が尊重されるべきだ



自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・
年齢の人に対して寛容であるべきだ



子どもの権利*1が
守られる社会であるべきだ



社会の活力

人びとが失敗しても再チャレンジする
ことができる社会であるべきだ



一人一人の力で変えることができる
社会であるべきだ



日本社会の制度には、政治・社会運動や
社会貢献活動、SNSでの意思表示などが
反映されるべきだ



日本の社会や経済には活力が
あってほしい

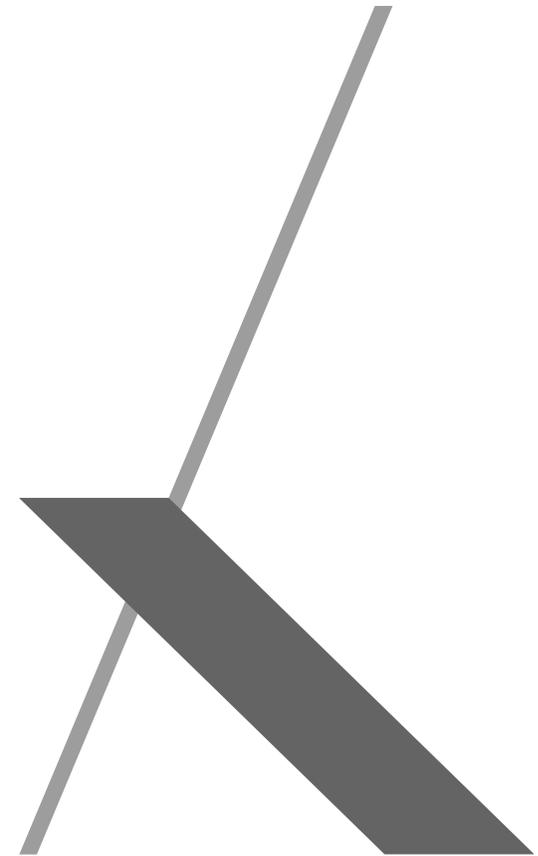


*1 ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

※2024年、2023年のスコアはそう思う計

【基数：対象者全員 (n=12,000)】 ■：そう思う計 (そう思う+ややそう思う) / ■：そう思わない計 (あまりそう思わない+そう思わない)

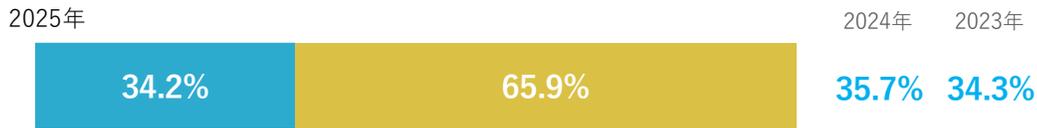
4. DX有効感



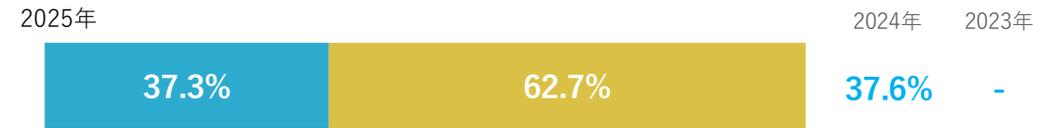
DX有効感

Q9：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化についておうかがいします。
次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている



デジタル化によって、社会課題の解決が進んでいる



デジタル化によって、教育機会が不均衡になり、格差が拡大している



デジタル化によって、自由に発言ができるようになっている



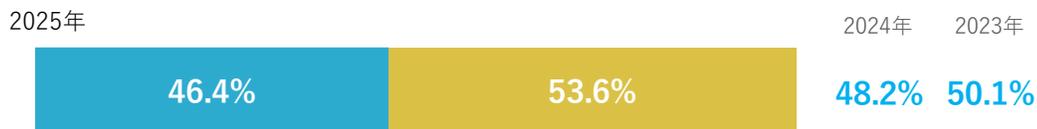
デジタル化によって、人間性が損なわれている



デジタル化によって、自由な生き方を手に入れられるようになっている



デジタル化によって、人びとの暮らしは豊かになっている



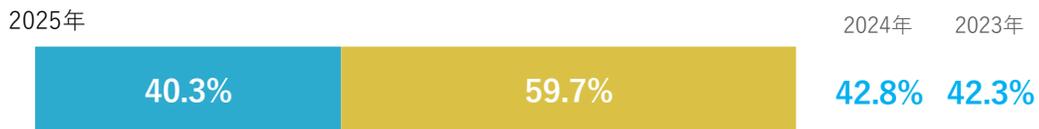
デジタル化によって、働き方の選択肢が広がっている



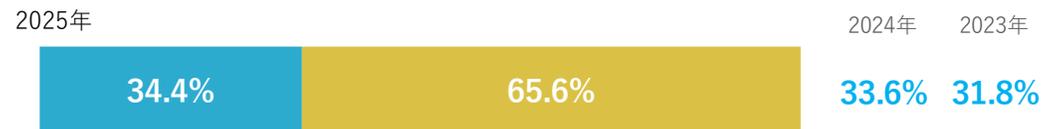
DX有効感

Q9：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化についておうかがいします。
次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

デジタル化によって、必要な医療が、必要な人に届くようになっている



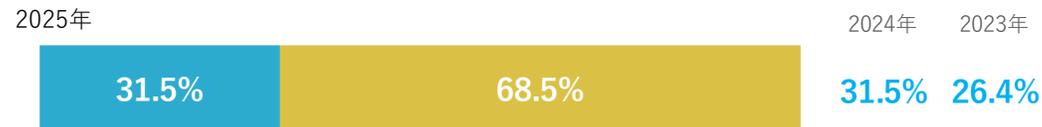
国のデジタル化施策は進んでいる



デジタル化によって、大雨や台風、地震など自然災害に関する情報を受け取りやすくなっている



自分の住んでいる地域のデジタル化施策は進んでいる



デジタル化によって、人との出会いや交流の機会が増えている



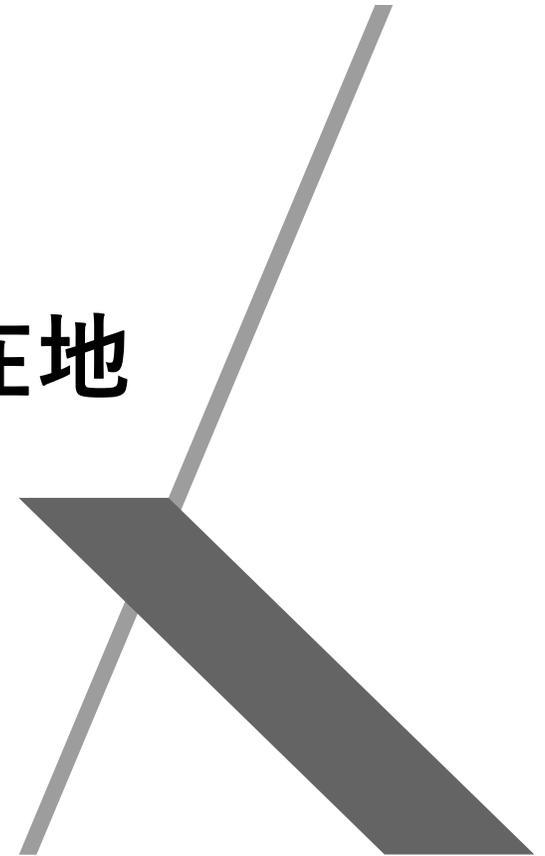
デジタル化によって、日本政府や自治体の行政手続きが効率化している



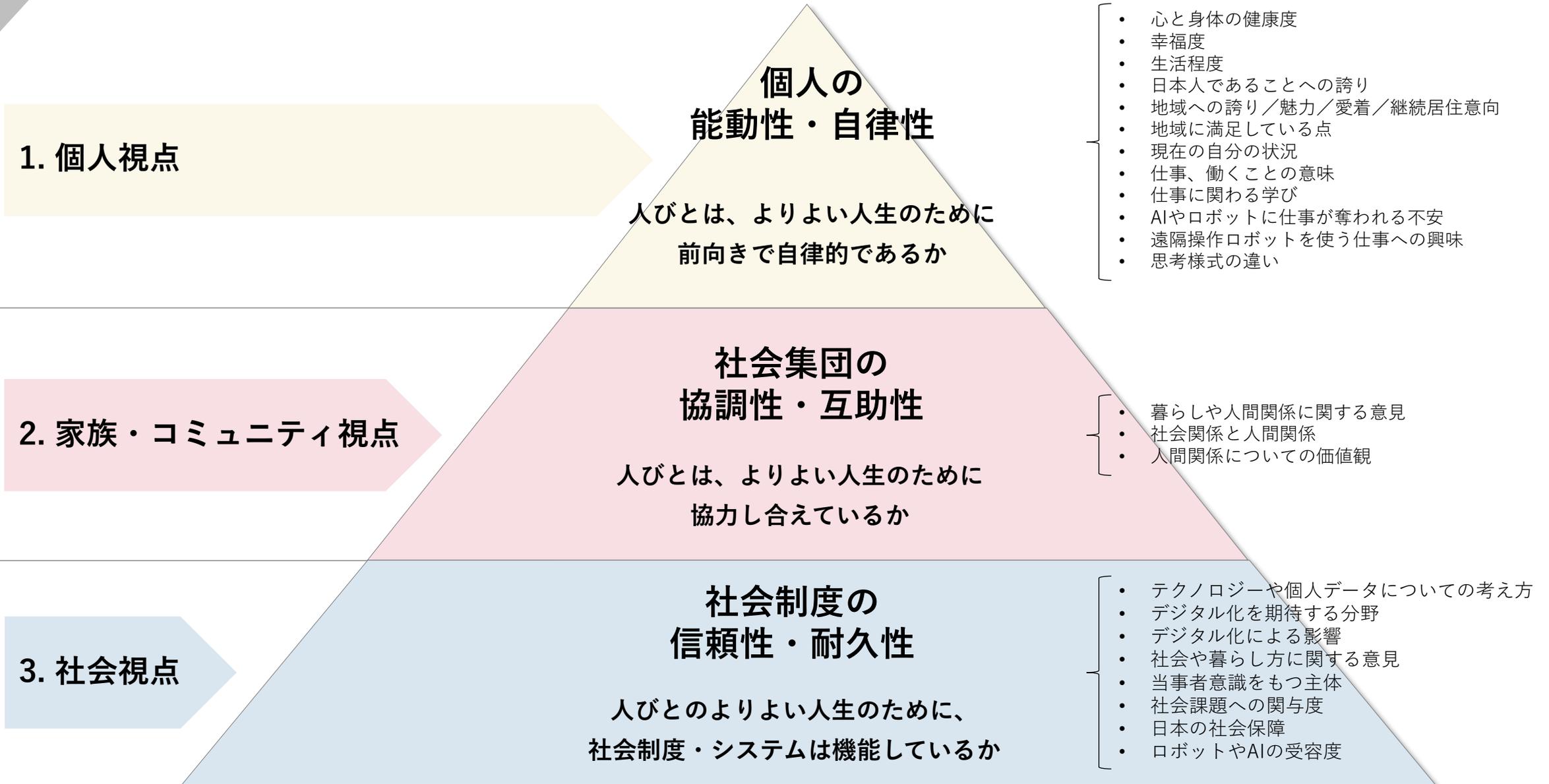
デジタル化によって、自分の価値観が変わってきている



II. 社会に対する人びとの意識の現在地

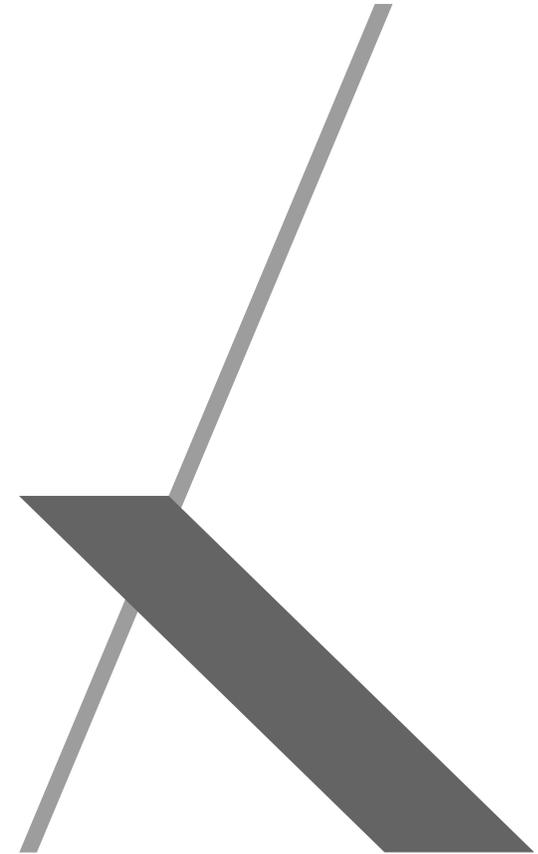


よりよい社会・個人のよりよい人生の実現のためには、個人の志向性だけでなく、社会集団や社会制度など個人を支える基盤も併せて捕捉することが必須である、という仮説に基づき構造化



1. 個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために
前向きで自律的であるか



①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

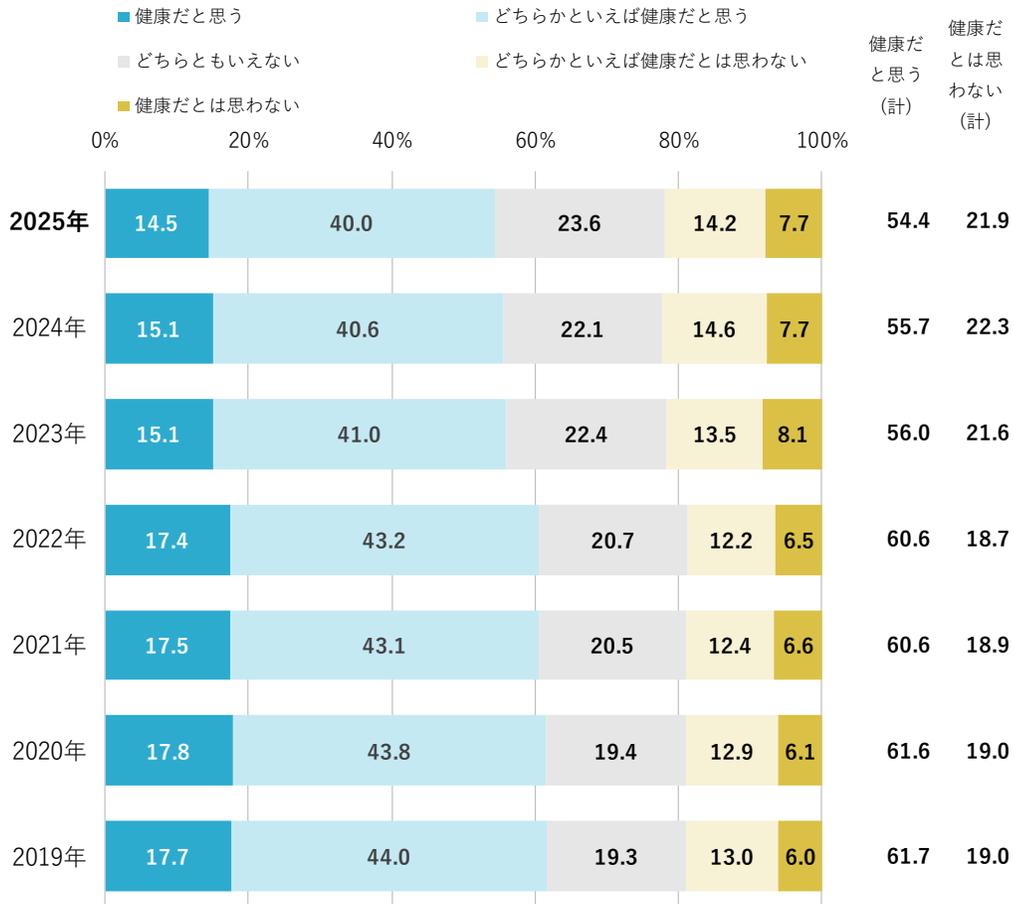
Q15： ご自分のことを健康だと思えますか。

(1)身体の健康

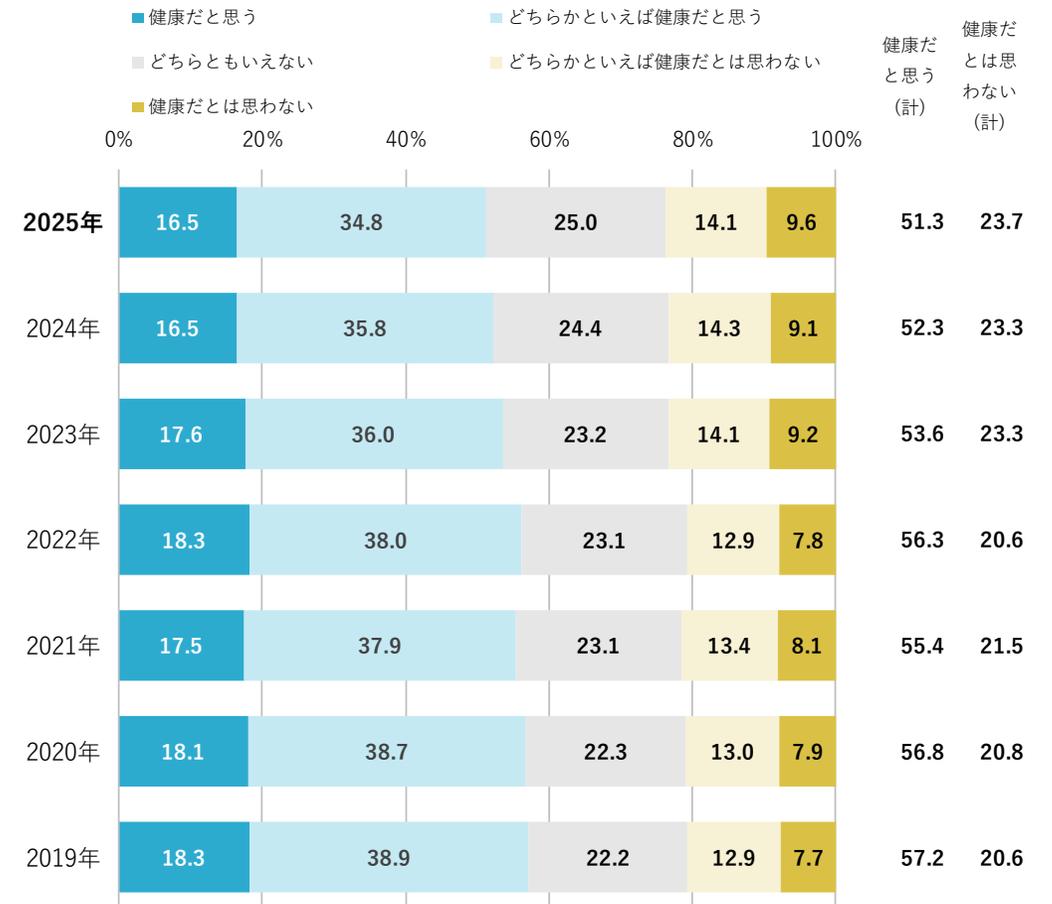
(2)心の健康

それぞれについて、あてはまるものをお選びください。【単一回答】

【身体の健康】



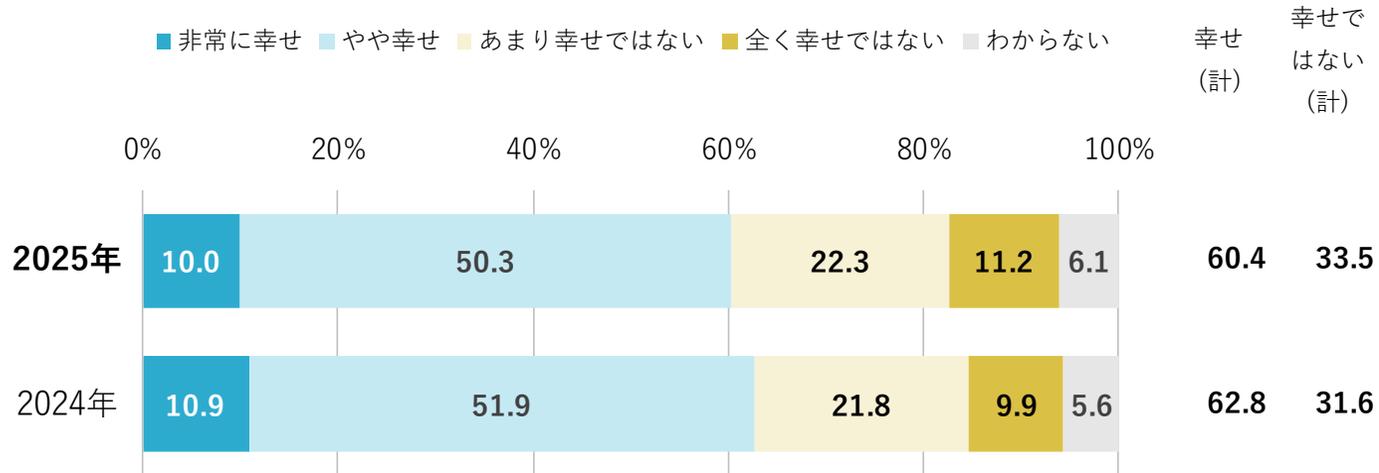
【心の健康】



①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q5：全体的にいて、現在、あなたは幸せだと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。【単一回答】

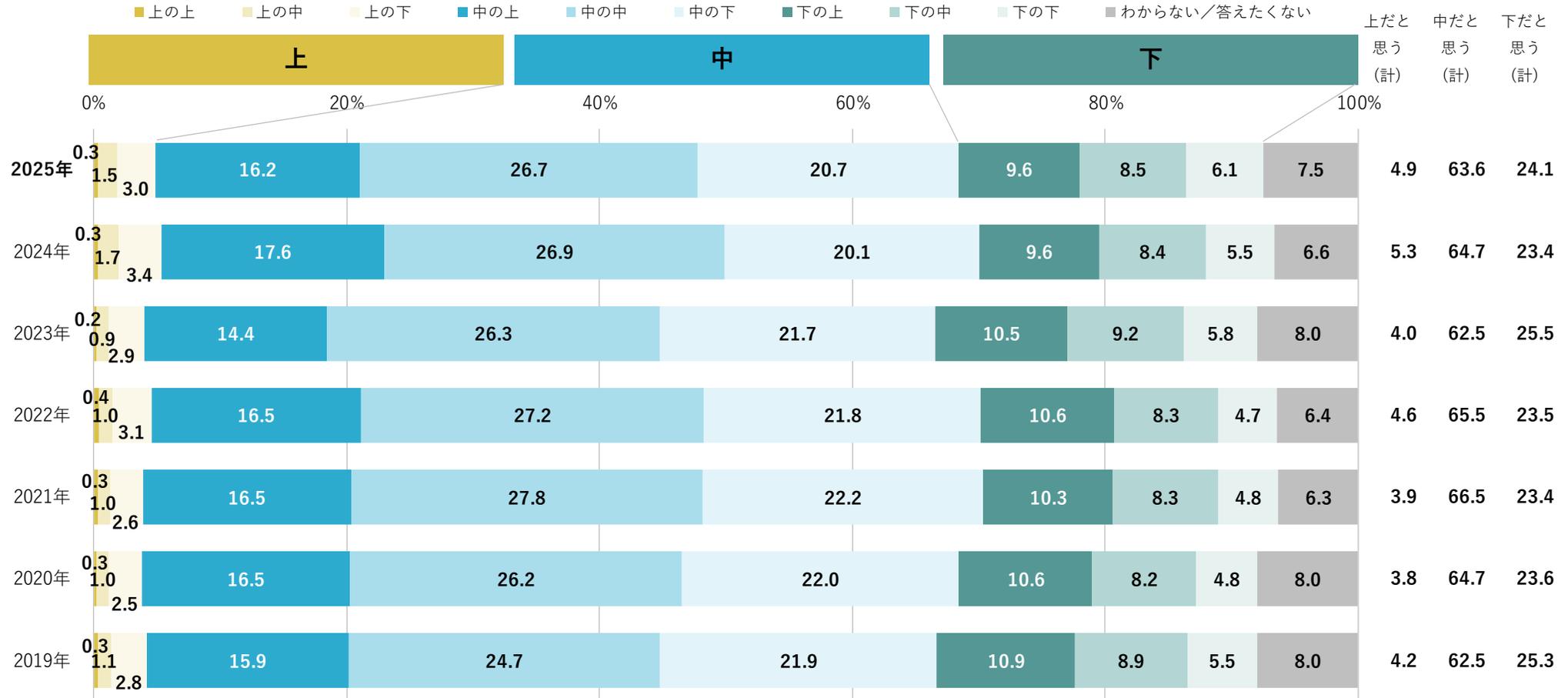


①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q17：あなたの生活程度は世間一般から見て、どれに入りますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】

【生活程度】



※2023年以前は、「現在の日本の社会全体が、以下の階層に分かれるとすれば、あなた自身は、どれに入りますか」と聴取

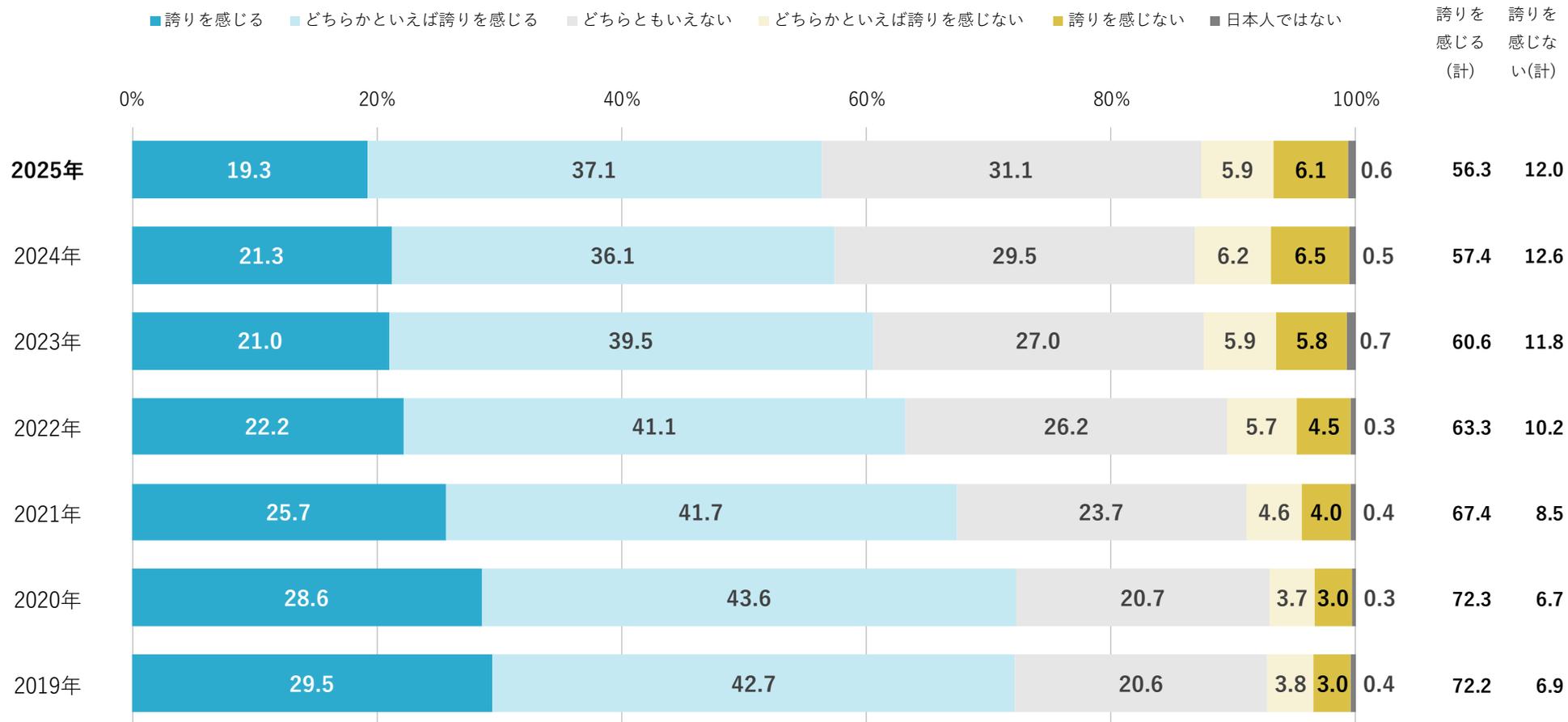
①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

日本人であることへの誇り

Q18：あなたは、日本人であることに誇りを感じますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】

【日本人であることに誇りを感じるか】



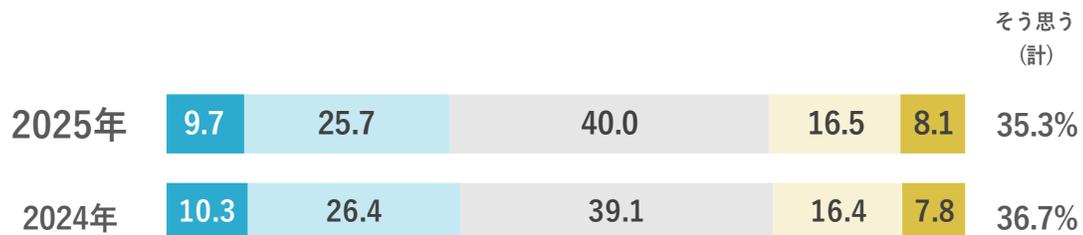
①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

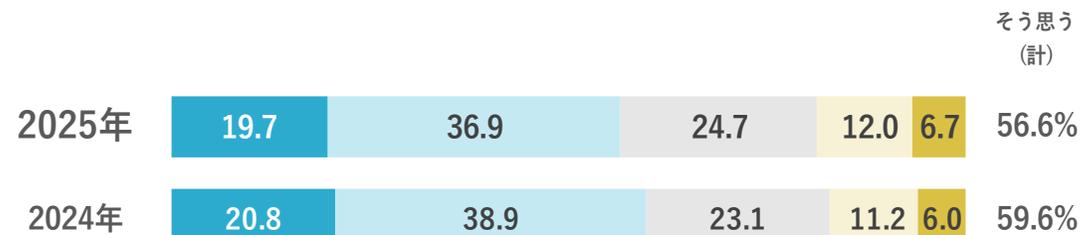
地域への誇り／魅力／愛着／継続居住意向

Q19：あなたのお住まいの地域について、それぞれあてはまるものをお選びください。住んでいる地域は、都道府県単位でお考えください。【単一回答】

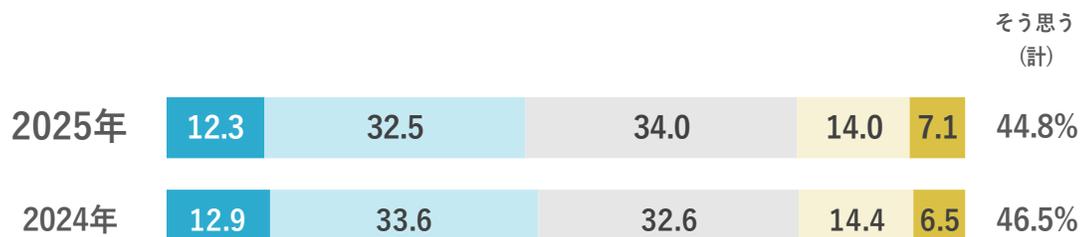
誇りを感じる



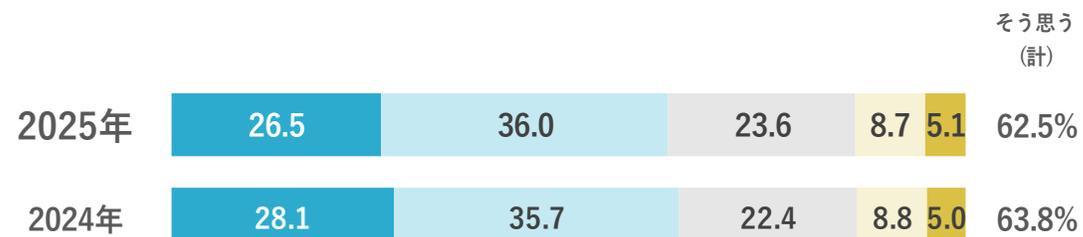
愛着を感じる



魅力を感じる



住み続けたい



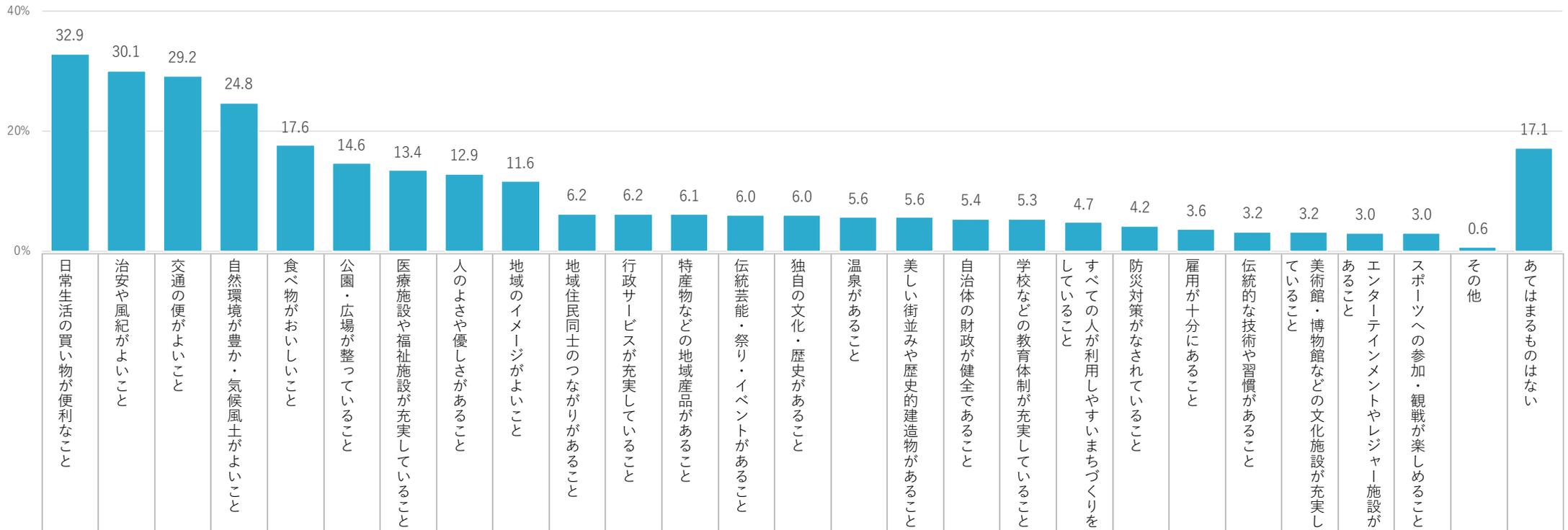
①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

地域に満足している点

Q20：あなたが住まいの地域に満足している点はどのようなことですか。あてはまるものを五つまでお選びください。【複数回答】

住まいの地域に満足している点【五つまで】



①個人の能動性・自律性

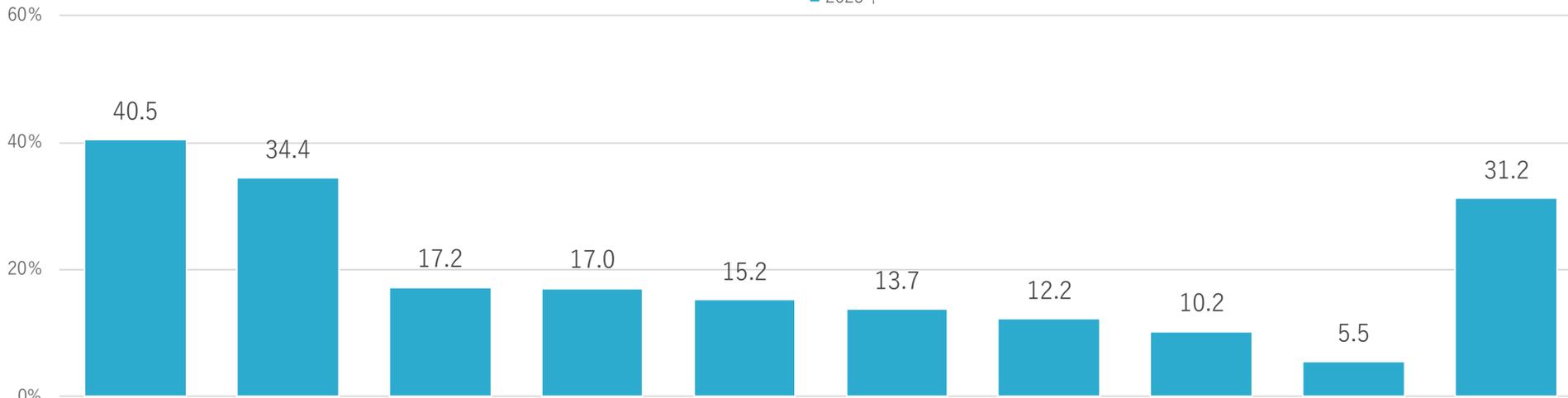
人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

現在の自分の状況

Q21：あなたは、現在のご自身の状況についてどのようにお感じですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。【複数回答】

現在の自分の状況

■ 2025年



	普通の生活を楽しめている	自分の人生は自分で決めることができる	自分を無条件で受け入れてくれる人がいる	生きている意味を感じて生活している	人生で何か失敗をしても、挽回することができると思っている	自分のよいところがある	自分は社会や人の役に立っている	自分が目指している目標は達成できていると思っている	自分が頑張れば、社会を変えられると思っている	この中であてはまるものはない	平均回答個数
2025年	40.5	34.4	17.2	17.0	15.2	13.7	12.2	10.2	5.5	31.2	1.66
2024年	42.6	33.5	18.3	18.4	15.7	14.6	12.1	10.3	5.4	29.8	1.71
2023年	42.6	36.8	22.7	21.1	19.7	20.0	14.5	10.7	5.0	28.1	1.93
2022年	39.7	35.0	20.1	17.9	22.0	17.8	12.2	10.4	4.7	29.3	1.80
2021年	40.1	35.7	21.9	18.9	23.2	18.7	12.3	11.0	4.7	28.9	1.86
2020年	42.1	35.4	24.3	19.9	24.1	18.1	12.4	10.7	5.1	26.6	1.92
2019年	42.5	36.0	23.9	20.2	25.3	17.3	12.2	11.2	4.6	25.4	1.94

※2025年のスコアで降順ソート
【基数：対象者全員 (n=12,000)】

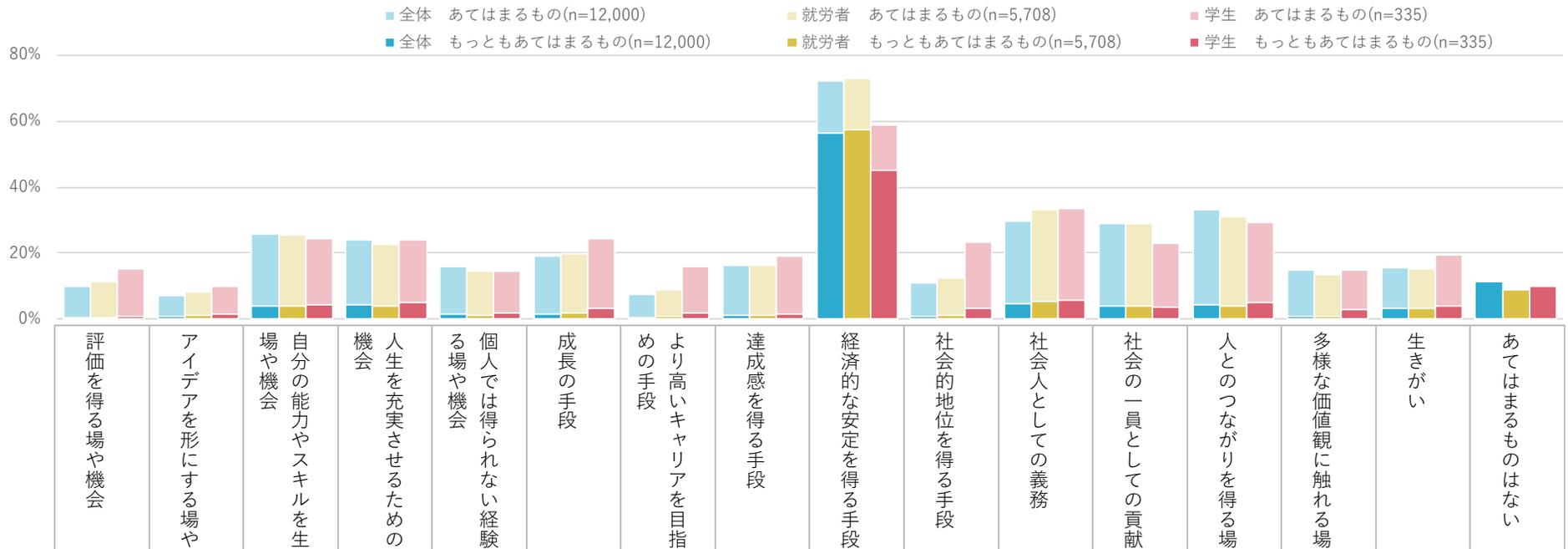
①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q1：あなたにとって「仕事」「働くこと」とは何ですか？

(1) あてはまるものをすべてお選びください。【複数回答】

(2) その中でもっともあてはまるものを一つお選びください。【単一回答】

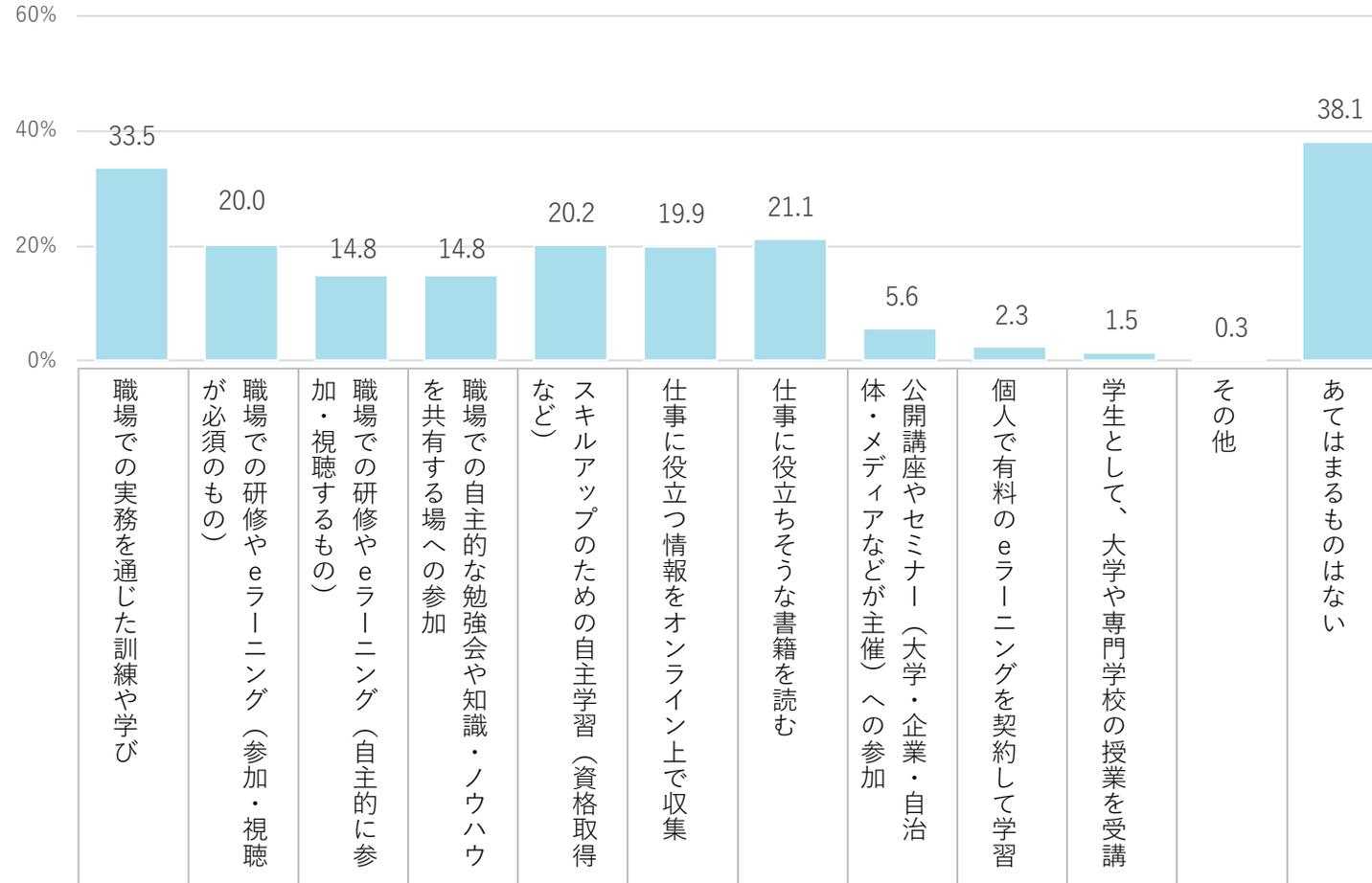


		評価を得る場や機会	アイデアを形にする場や機会	自分の能力やスキルを生かす場や機会	人生を充実させるための場や機会	個人では得られない経験を得る場や機会	成長の手段	より高いキャリアを目指すための手段	達成感を得る手段	経済的な安定を得る手段	社会的地位を得る手段	社会人としての義務	社会の一員としての貢献	人とのつながりを得る場	多様な価値観に触れる場	生きがい	あてはまるものはない
		全体	あてはまるもの	10.1	7.1	25.7	24.0	15.9	19.0	7.5	16.3	72.1	11.0	29.6	29.0	33.0	14.9
	もっともあてはまるもの	0.4	0.7	4.0	4.4	1.4	1.6	0.5	1.2	56.2	0.9	4.8	3.9	4.5	1.0	3.2	11.3
就労者	あてはまるもの	11.3	8.1	25.6	22.7	14.7	19.8	9.0	16.4	73.0	12.6	33.1	29.0	31.0	13.5	15.4	8.8
	もっともあてはまるもの	0.5	1.1	4.1	4.1	1.3	1.8	0.8	1.2	57.6	1.1	5.5	4.0	4.1	1.0	3.2	8.8
学生	あてはまるもの	15.2	10.1	24.5	23.9	14.6	24.5	16.1	19.1	58.8	23.3	33.4	23.0	29.3	14.9	19.4	10.1
	もっともあてはまるもの	0.9	1.5	4.5	5.1	1.8	3.3	1.8	1.5	45.1	3.3	5.7	3.6	5.1	3.0	3.9	10.1

①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q2：あなたは、仕事に関わる学びについて、どのようなことをしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。【複数回答】

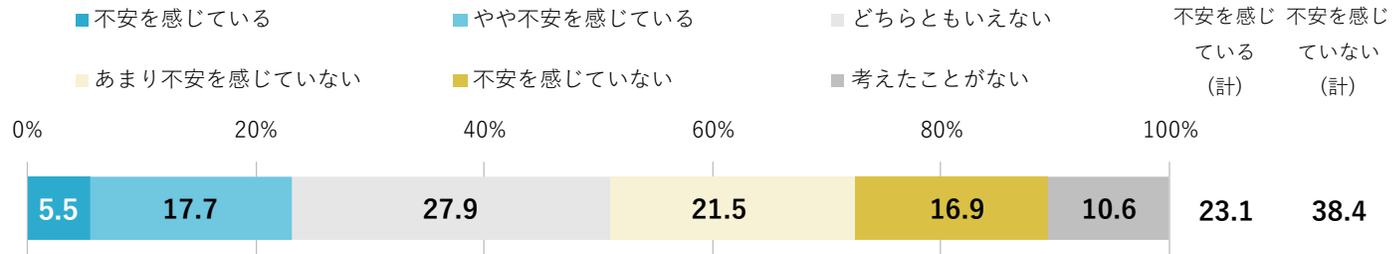


①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

AIやロボットに仕事が奪われる不安

Q3：あなたは、AI（人工知能）やロボットなどのデジタル化が進むことによって、自分の仕事が奪われる不安を感じていますか。
あてはまるものをお選びください。【単一回答】

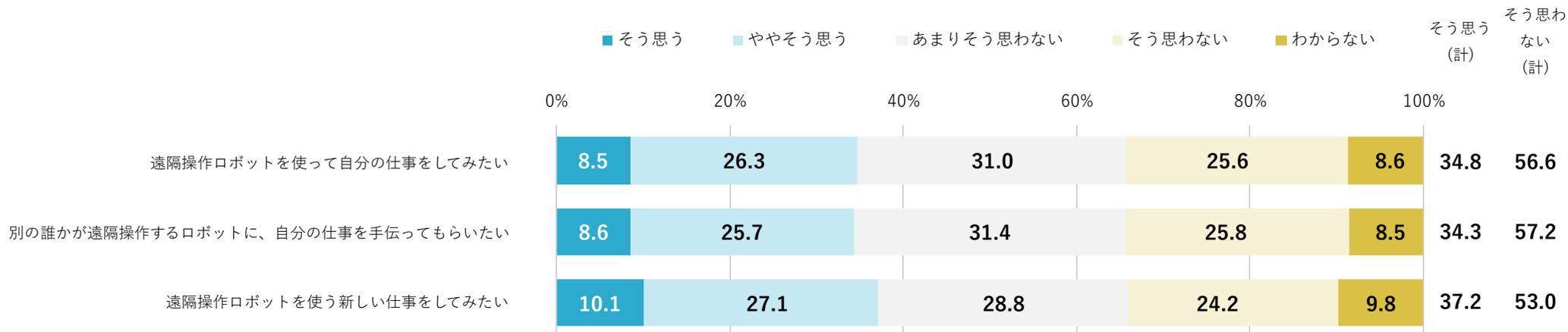


①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

遠隔操作ロボットを使う仕事への興味

Q27：あなたは、遠隔操作ロボットを使う仕事についてどう思いますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】



①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q23：次にあげる事柄について、あなたの考えや普段の行動に近いものをお選びください。【単一回答】

重視するのは理想的なあるべき姿か、現実的な今の状態か



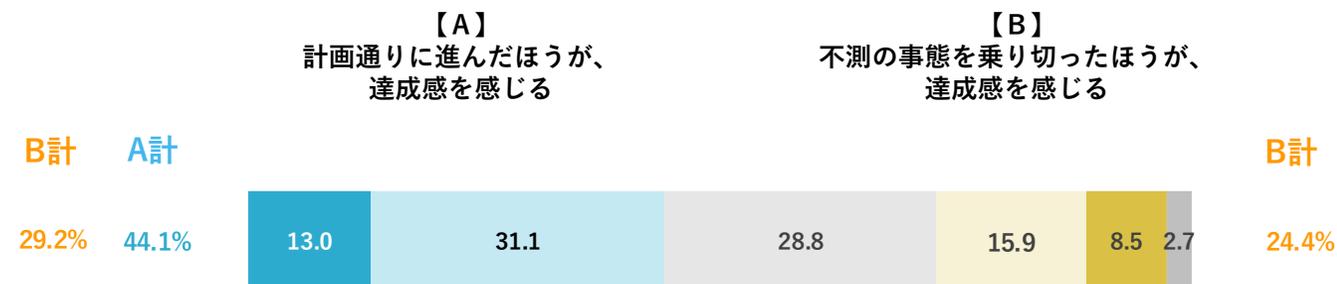
道具や素材を揃えてからか、手元のものでできることからか



最初に計画した通りか、偶然起きたことを受け入れながらか

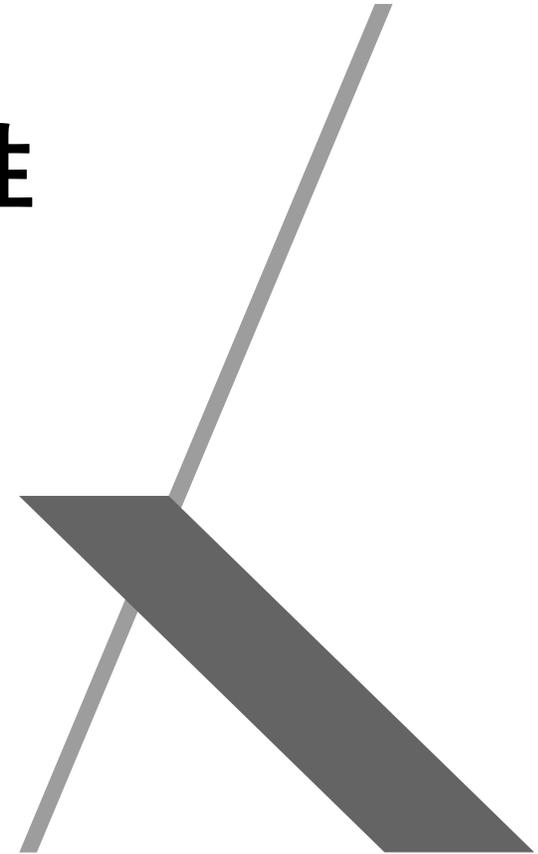


達成感を感じるの計画通りか、不測の事態を乗り越えたときか



2. 社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために
協力し合っているか



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

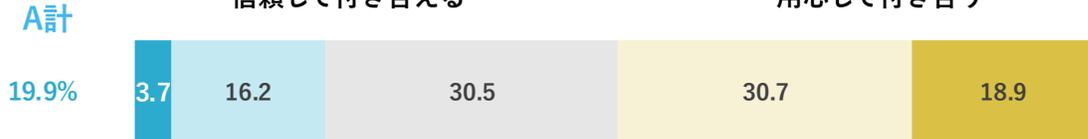
暮らしや人間関係に関する意見（1）

Q22：次にあげる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

初対面の人を信用するか

【A】
初対面の人でも、
信頼して付き合える

【B】
初対面の方は、
用心して付き合う



リスクをとって挑戦するか

【A】
失敗する可能性があるなら、
挑戦したくない

【B】
失敗する可能性があっても、
挑戦したい



自分の努力か周囲の支援か

【A】
今の自分があるのは、
自分の努力の結果である

【B】
今の自分があるのは、
世の中や周りの支援の結果である



調和か独自性が

【A】
周りや調和することを優先したい

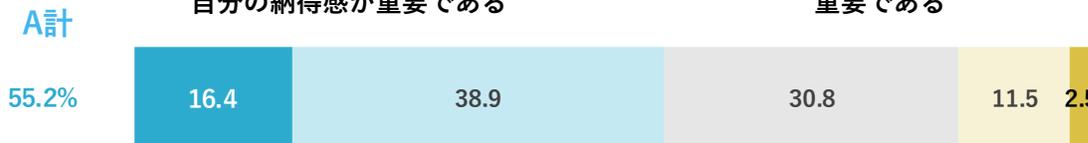
【B】
独自の発想や自分らしさを優先したい



自分の納得か周囲からの承認か

【A】
人から認められなくても、
自分の納得感が重要である

【B】
周りの人びとから認められることが
重要である



自分の暮らしか世の中みんなの暮らしか

【A】
自分の暮らしがよくなることを
優先したい

【B】
世の中の中みんなの暮らしが
よくなることを優先したい



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

暮らしや人間関係に関する意見（2）

Q22：次にあげる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

過程か結果か



今の自分と5～10年後の自分



自分の関心の向け方



今の社会・環境と5～10年後の社会・環境

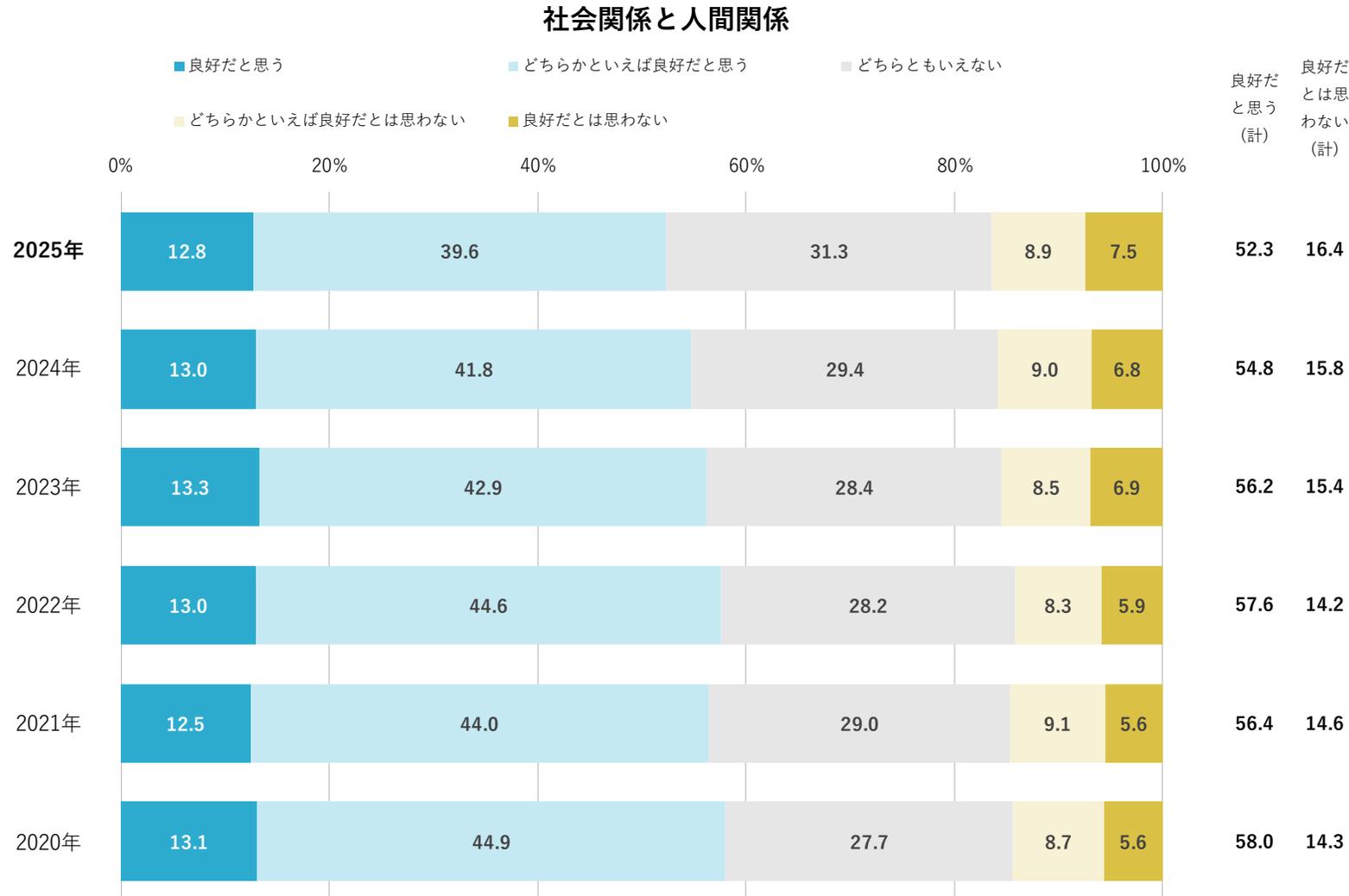


多数意見か少数意見か



②社会集団の協調性・互助性
人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

Q16：ご自分の人間関係・社会関係は良好だと思いますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】



【基数：対象者全員 (n=12,000)】

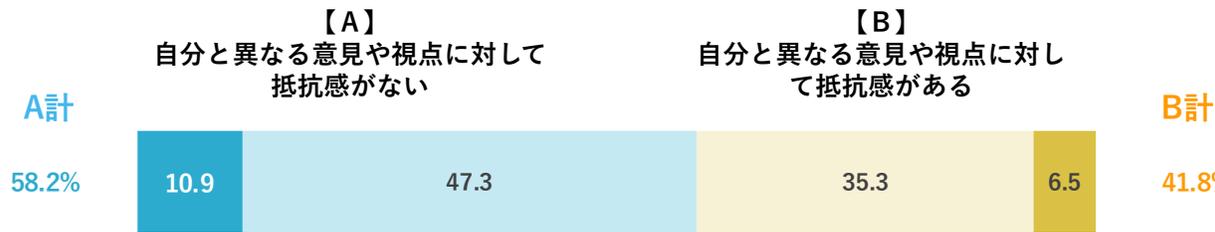
②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

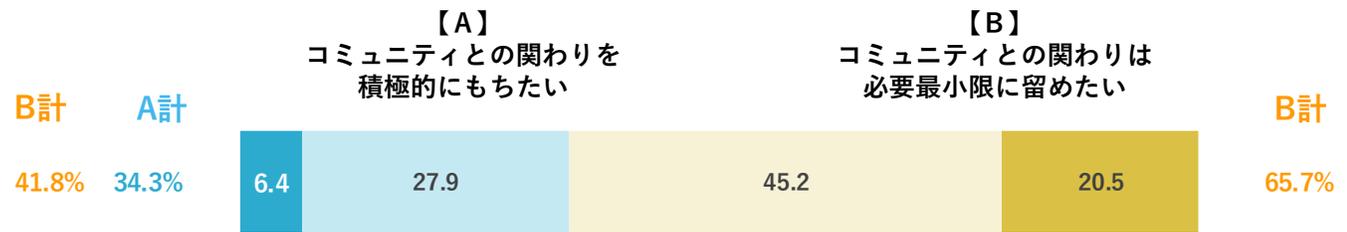
人間関係についての価値観（1）

Q25：対人関係や人との付き合いについて、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

異なる意見に対する抵抗感があるか



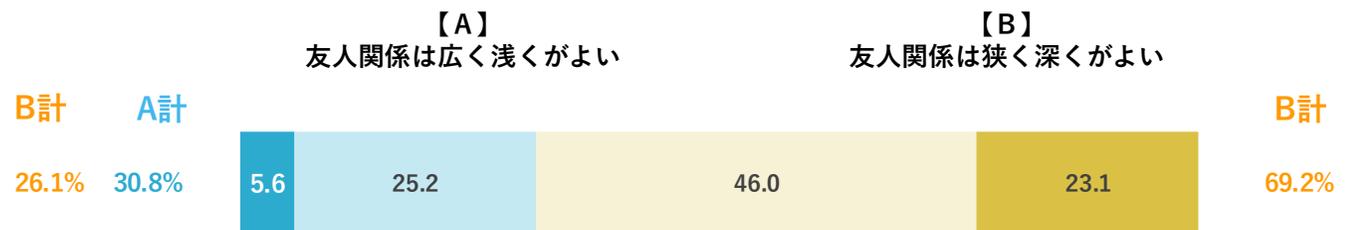
コミュニティと関わりをもちたいか



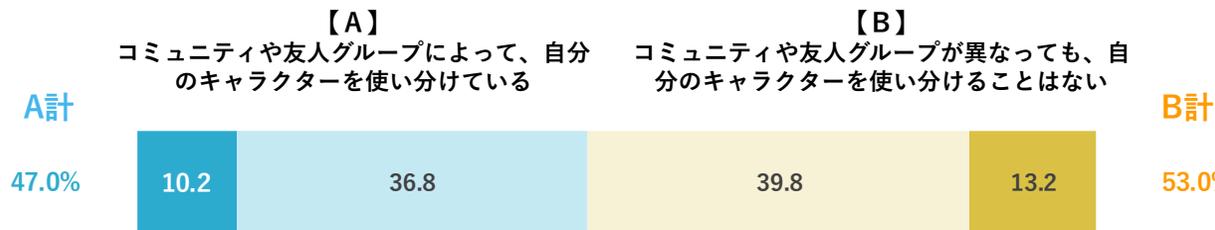
表情やしぐさから気持ちを押し量れるか



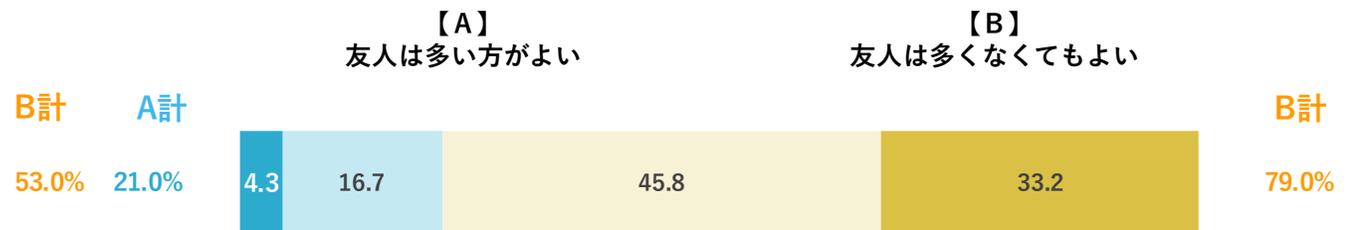
友人関係は広く浅くか、狭く深くか



キャラクターを使い分けるか



友人は多い方がよいか



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

Q25：対人関係や人との付き合いについて、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

友人との時間を大切にするか



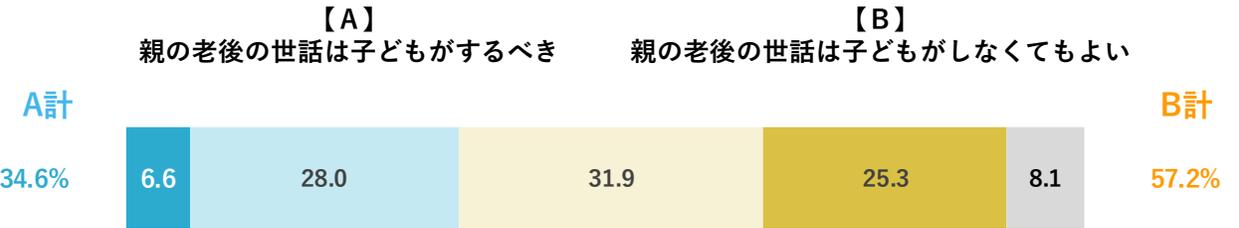
家族とは頻繁に連絡を取りたいか



家族との時間を大切にするか



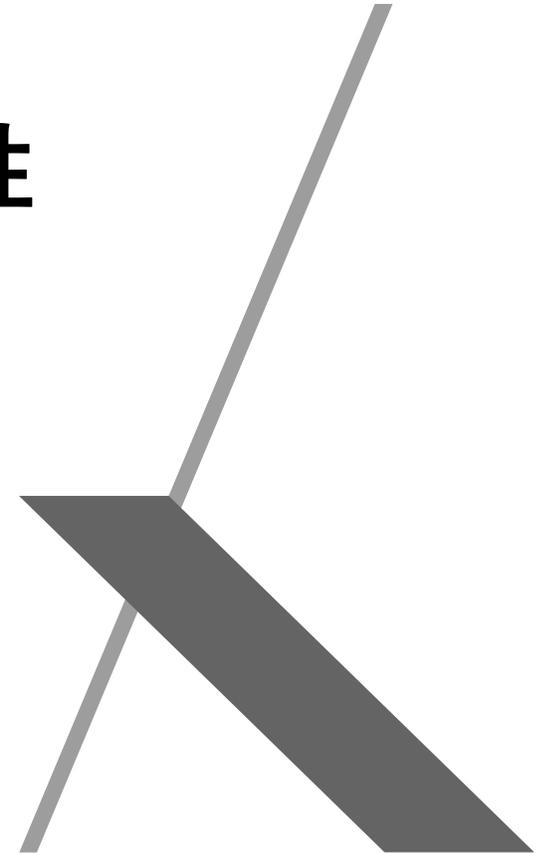
親の老後の世話は子どもがすべきか



【基数：対象者全員（n=12,000）】 ■：Aに近い ■：どちらかというAに近い ■：どちらかというBに近い ■：Bに近い ■：あてはまらない（家族がない）
 ※家族について尋ねた質問では「あてはまらない（家族がない）」の選択肢も提示

3. 社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、
社会制度・システムは機能しているか



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

テクノロジーや個人データについての考え方

Q10：次にあげる項目それぞれについて、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

利用目的を理解するか、気にしないか

【A】

サービスを使うとき、利用目的をきちんと理解してから個人データを登録している

【B】

サービスを使うとき、利用目的をあまり気にしないで個人データを登録している

A計

69.7%



個人データの活用は社会のためか個人のためか

【A】

個人データは、社会全体の発展のために活用してほしい

【B】

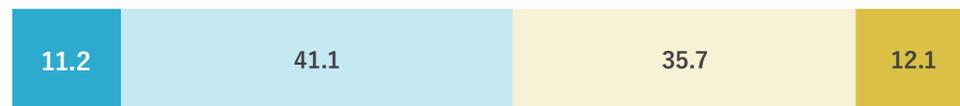
個人データは、個人の利益のために活用してほしい

B計

A計

30.3%

52.3%



B計

47.7%

利用目的に自己メリットを求めるか

【A】

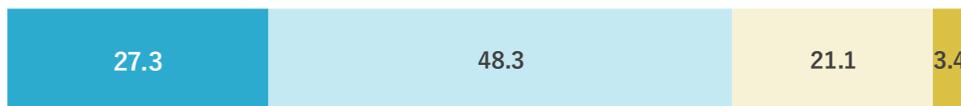
個人データの利用目的に、自分への恩恵やメリットがないなら、そのサービスは使いたくない

【B】

個人データの利用目的に、自分への恩恵やメリットがなくても、そのサービスを使う

A計

75.6%



B計

24.4%

57.6%

AIによる生活への影響

【A】

AI（人工知能）の導入によって、人びとの生活はよい影響を受けると思う

【B】

AI（人工知能）の導入によって、人びとの生活は悪い影響を受けると思う

A計

75.6%

B計

24.4%

57.6%



B計

42.4%

履歴データは個人のものか

【A】

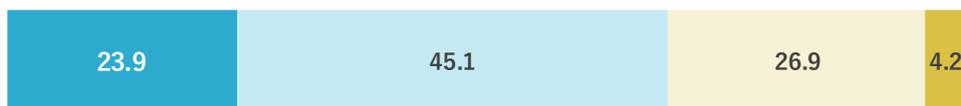
個人の行動の結果である履歴データは個人のものだ

【B】

企業や政府などのサービスの利用に付随するため、履歴データは個人だけのものとはいえない

A計

68.9%



B計

31.1%

23.5%

AIで答えを得るか自分で考えるか

【A】

世の中でAI（人工知能）が発展したら、自分で考えずに答えを得たい

【B】

世の中でAI（人工知能）が発展しても、じっくり自分で考えて答えを出したい

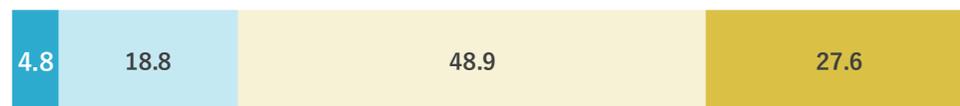
A計

68.9%

B計

31.1%

23.5%



B計

76.5%

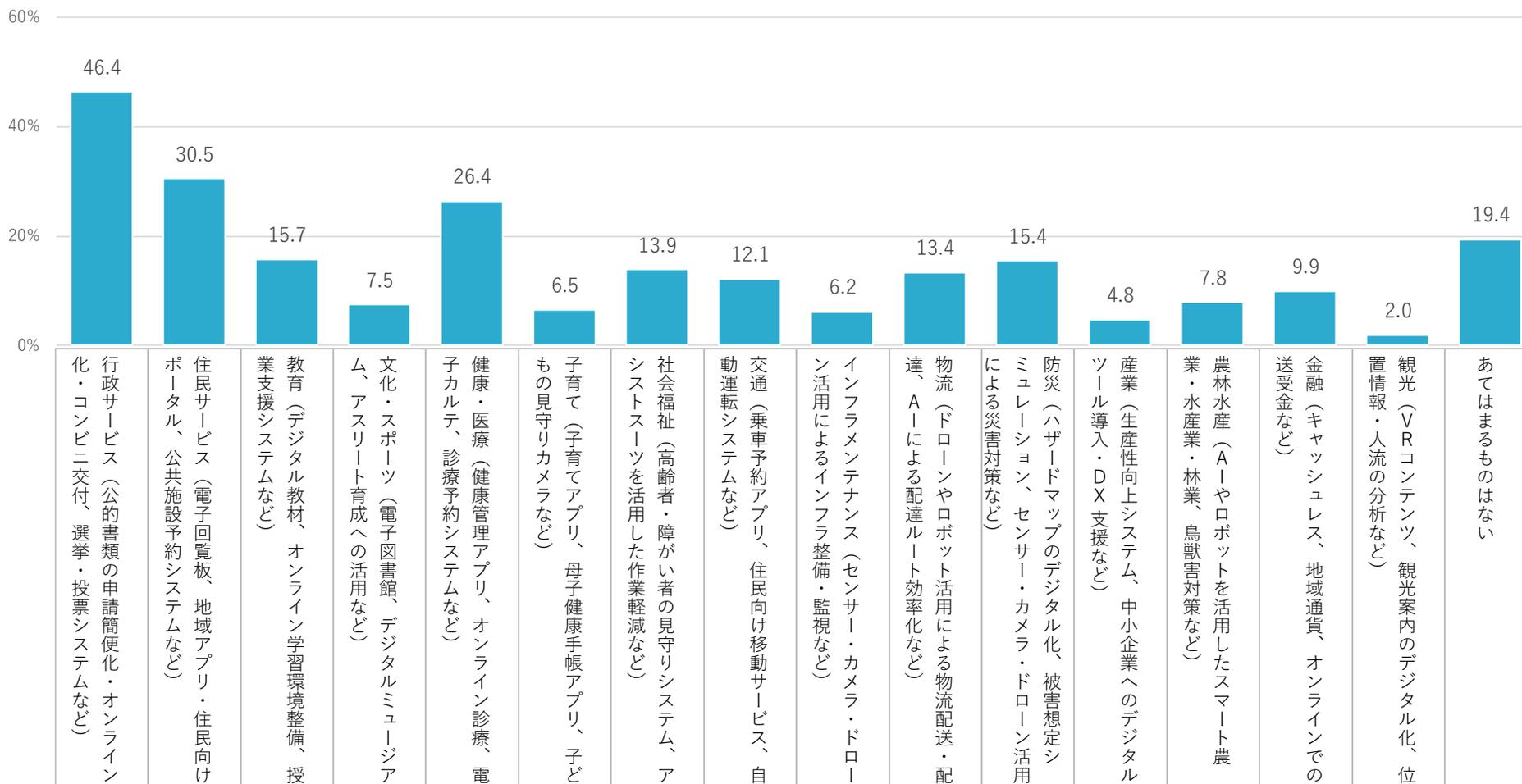
③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

デジタル化を期待する分野

Q13：デジタル化が推進されています。どの分野でデジタル化が進むことを期待していますか。特に期待している分野を三つまでお選びください。【複数回答】

デジタル化を期待する分野【三つまで】



③社会制度の信頼性・耐久性

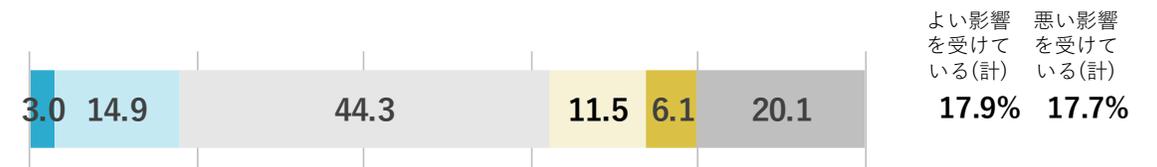
人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q14：次にあげる場面でデジタル化が進んでいることにより、あなたはよい影響を受けていると思いますか。悪い影響を受けていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。【単一回答】

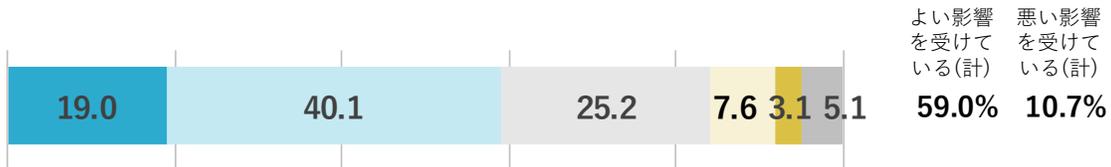
行政サービスなどの手続き



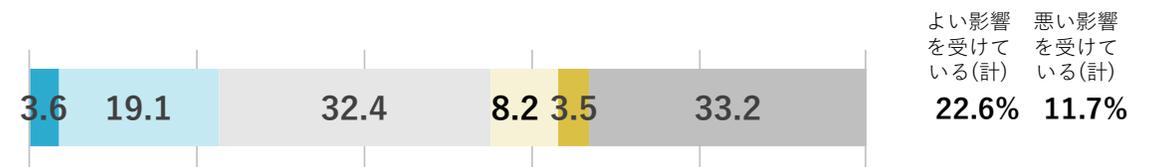
政党や議員による政治活動の情報発信



セルフレジやキャッシュレス決済



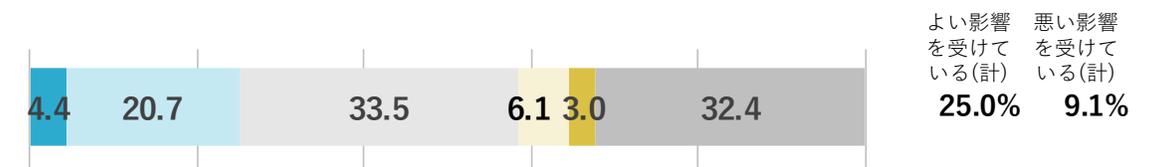
学校の学習教材



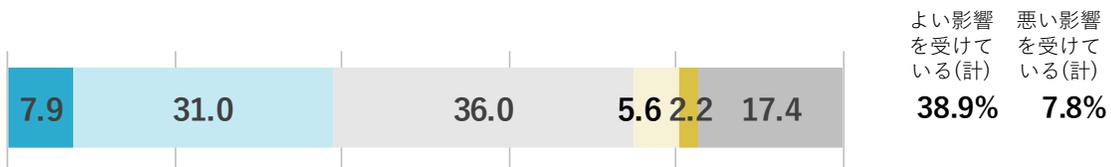
家族や知人とのコミュニケーション



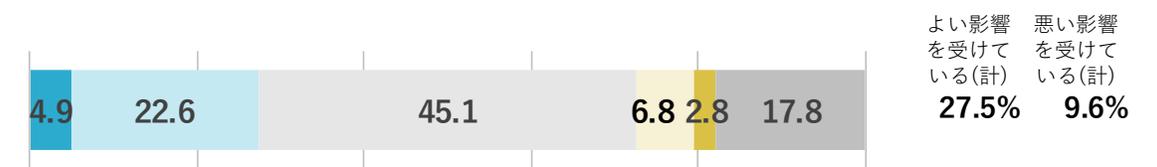
職場の研修教材 (eラーニング)



医療・介護現場におけるウェブ予約や電子カルテ



働き方全般



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

社会や暮らし方に関する意見

Q24：次にあげる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

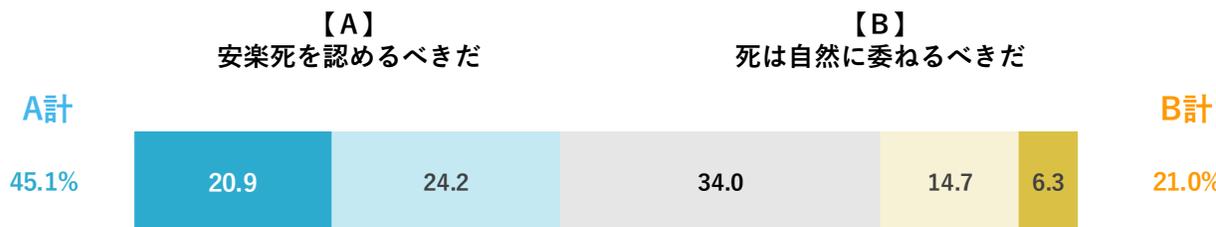
相互依存か自己責任か



環境負荷か価格か



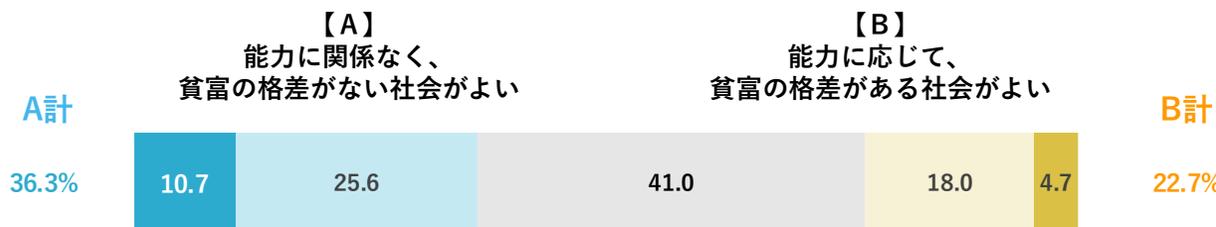
安楽死の是非



外国人との雇用機会



能力による貧富の格差の是非



経済力・政治力か文化・心の豊かさか



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q24：次にあげる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

自国の利益か世界との調和か



年功か成果か



雇用の流動性



ノーベル賞に匹敵する研究水準を維持できるか



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q11：日本社会に関わる下記の事柄に関して、当事者意識を持つべきなのはどの主体だと思いますか。
「当事者意識をもつべき」と思うものを、すべてお選びください。【複数回答】

当事者意識をもつ主体

	国際機関 (国連など)	政府	地方自治 体	企業	NGO (非政府 組織)、 NPO (非営利 組織)	コミュニ ティ(町 内会、 PTAな ど)	個人	その他	この問題 の解決に 取り組む 必要はな い	わからな い	平均回答 個数
気候変動、地球温暖化	62.2	65.5	29.2	31.3	13.0	8.7	21.7	0.0	2.7	13.5	2.32
一次産業の後継者不足	11.4	60.3	53.4	40.0	12.8	11.7	20.3	0.1	1.5	16.1	2.10
伝統文化の衰退・消失	14.8	50.0	59.6	20.6	17.0	27.4	23.8	0.0	3.2	15.1	2.13
主要先進国と比較した労働生産性の低さ	25.1	67.8	31.4	42.6	7.8	4.3	10.4	0.0	1.8	15.4	1.89
少子化による人口減少	17.7	74.0	50.6	20.9	9.1	12.2	27.1	0.0	2.7	12.6	2.12
高齢化による介護難民・老老介護	14.8	73.9	61.7	21.5	17.2	21.9	24.3	0.0	1.4	11.6	2.35
エネルギー資源の枯渇	51.7	72.1	27.4	33.9	8.9	5.2	11.7	0.0	1.4	13.9	2.11
子どもの貧困、教育機会の格差	33.7	72.7	51.5	17.5	19.9	17.2	18.6	0.0	1.9	12.3	2.31
異常気象(巨大台風、豪雨、豪雪など)	50.9	69.6	38.1	22.7	10.8	11.0	18.4	0.0	2.1	14.2	2.22
巨大地震、火山噴火	36.1	75.7	49.3	16.8	11.8	16.3	19.9	0.0	1.6	13.5	2.26
感染症対策や疾病予防	52.9	73.9	47.0	19.0	12.6	11.8	27.6	0.0	1.2	11.4	2.45
戦争、紛争、テロ	73.6	69.8	12.4	8.7	11.8	5.0	10.7	0.0	1.3	10.2	1.92
サイバー攻撃(ハッキング、フィッシングなど)	46.6	72.8	32.4	47.2	9.8	5.3	18.5	0.1	1.0	12.9	2.33
食料自給率の低さ、飢餓	34.4	77.6	45.0	26.5	13.9	8.2	14.8	0.0	1.1	11.6	2.20
人種・民族による差別の解消	53.5	59.1	28.4	18.3	16.8	14.0	26.2	0.0	3.6	14.0	2.16

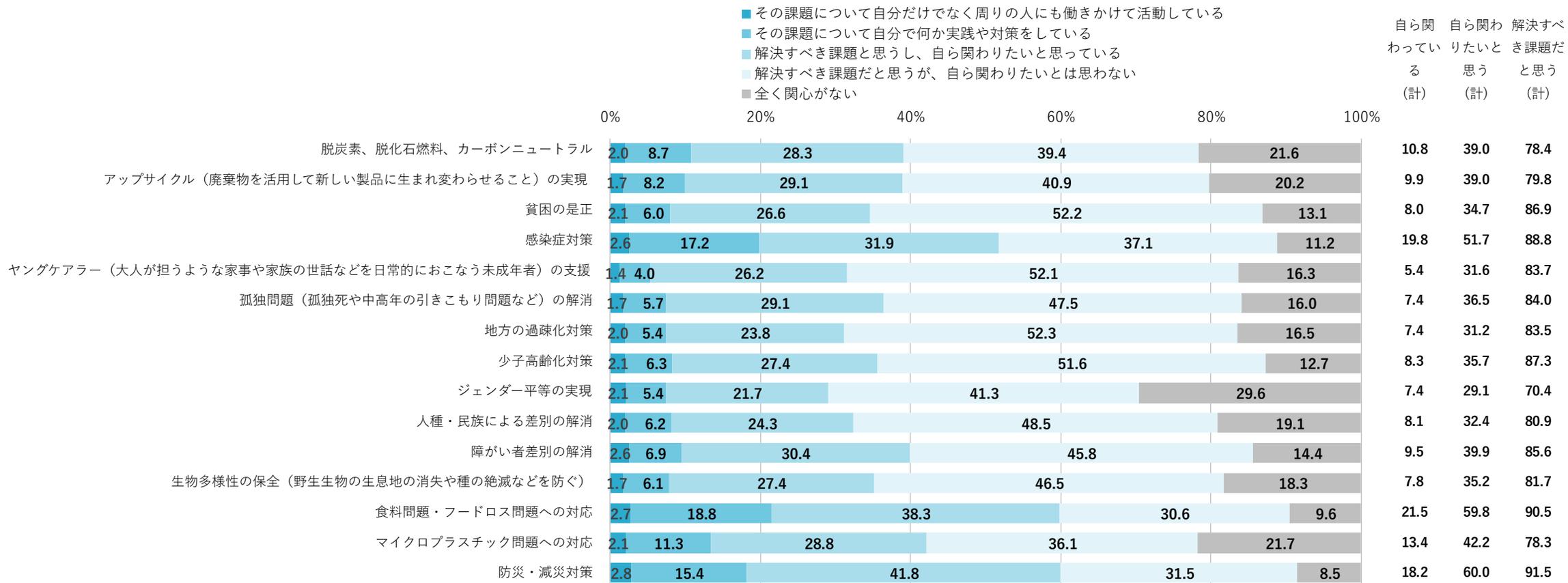
(%)

③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q12：下記の事柄について、あなたの考えや行動に近いものをお選びください。【単一回答】

社会課題への関与度



※「自ら関わっている(計)」(「その課題について自分だけでなく周りの人にも働きかけて活動している」+「その課題について自分で何か実践や対策をしている」)

「自ら関わりたいと思う(計)」(「自ら関わっている(計)」+「解決すべき課題と思うし、自ら関わりたいと思っている」)

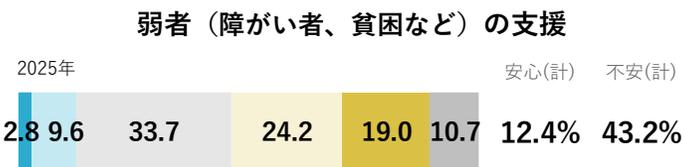
「解決すべき課題だと思う(計)」(「自ら関わりたいと思う(計)」+「解決すべき課題だと思うが、自ら関わりたいとは思わない」)

【基数：対象者全員 (n=12,000)】

③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q4：あなたは、日本の社会保障などについて、どの程度、安心感があると思いますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。【単一回答】



③社会制度の信頼性・耐久性

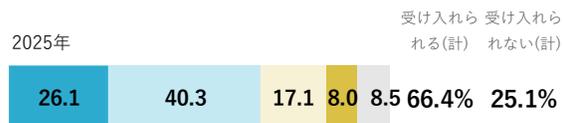
人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

ロボットやAIの受容度

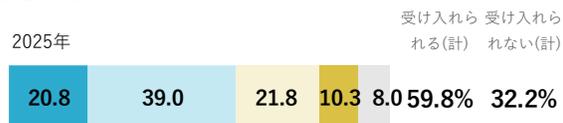
Q26：あなたは、ロボットやAIが日常生活に入ってくることについて、それぞれどの程度受け入れられますか。
 あてはまるものをお選びください。【単一回答】

ロボット

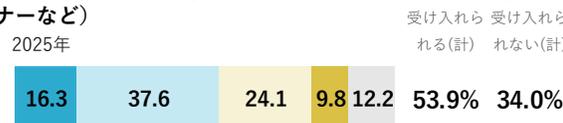
荷物を配達するロボットが、街や集合住宅の中を移動していること



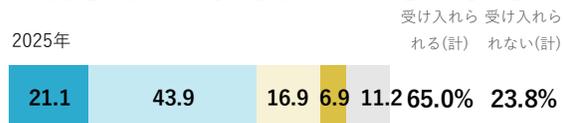
ホテルなどでおもてなしをするスタッフがロボットになること



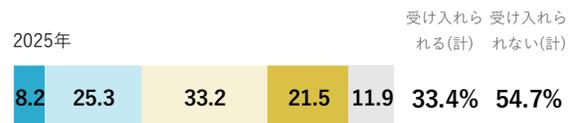
専門知識をもったスタッフがロボットになること
 (レストランのソムリエやスポーツジムのパーソナルトレーナーなど)



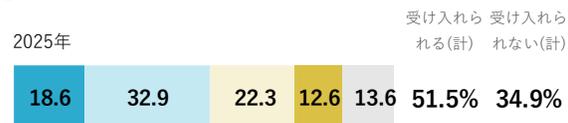
人の手が必要な部分を残して設計されたロボット(ドアの開閉を人が補助する、言葉で人に助けを求めるなど)



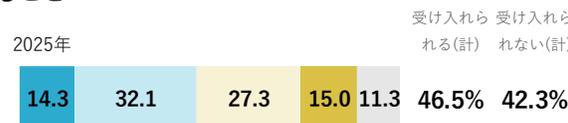
家事ロボットが機能向上のためにプライバシーに関するデータを取得すること



自分がロボットに介護され、排せつの世話などをしてもらうこと



自律的に動くロボットに、家の中の家事や育児を任せること

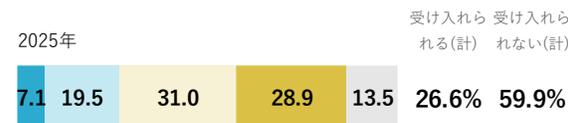


専門的なスタッフが遠隔操作するロボットに、家の中の家事や育児を任せること

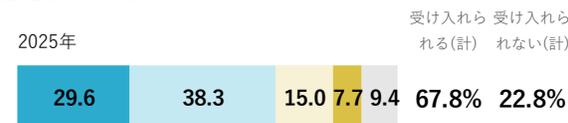


AI

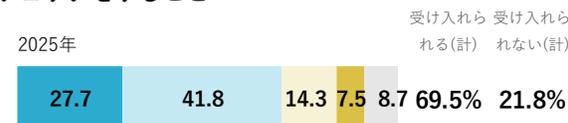
政策についての決定をAI(人工知能)に委ねること



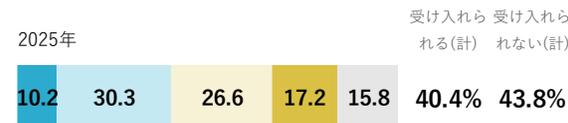
AI(人工知能)が防犯カメラのデータを分析して犯罪者を探ること



AI(人工知能)が入場ゲートや受付でセキュリティチェックをすること

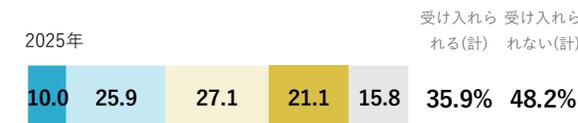


AI(人工知能)に育児・保育を相談すること

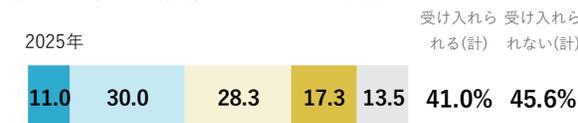


AI、ロボット

AI(人工知能)やロボットが自分の友人になること



学校の教員や医師など、多様な対応を求められる仕事を、AI(人工知能)やロボットが担うこと



AI(人工知能)やロボットに、センシティブな内容(お金、人間関係、性に関する悩みなど)を相談すること



「社会の質」に関する人びとの評価 過去調査概要

【2020年12月調査概要】

調査時期 2020年12月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	469	491	577	480	549	397
女性	451	481	569	483	579	474

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 6,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2021年5月調査概要】

調査時期 2021年5月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	936	984	1,155	956	1,101	793
女性	903	962	1,138	966	1,158	948

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2021年10月調査概要】

調査時期 2021年10月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	936	984	1,155	956	1,101	793
女性	903	962	1,138	966	1,158	948

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2022年6月調査概要】

調査時期 2022年6月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	936	984	1,155	956	1,101	793
女性	903	962	1,138	966	1,158	948

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2023年6月調査概要】

調査時期 2023年6月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2024年6月調査概要】

調査時期 2024年6月
調査地域 全国
調査対象者 18歳～79歳の男女
対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人
調査方法 インターネット調査
調査実施機関 電通マクロミルインサイト

社会に対する人びとの意識の現在地 過去調査概要

※2023年より「「社会の質」に関する人びとの評価」の調査と統合

【第1回調査概要】

調査時期 2019年12月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～74歳の男女

対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,009	596	1,327	1,414	1,274	392
女性	956	1,188	1,212	850	1,426	356

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【第2回調査概要】

調査時期 2020年11月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～74歳の男女

対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,004	1,051	1,236	1,025	1,175	479
女性	963	1,031	1,217	1,033	1,240	546

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【第3回調査概要】

調査時期 2021年10月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～74歳の男女

対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,004	1,051	1,236	1,025	1,175	479
女性	963	1,031	1,217	1,033	1,240	546

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【第4回調査概要】

調査時期 2022年9～10月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～74歳の男女

対象者割当

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,009	970	1,250	1,125	1,033	590
女性	971	942	1,230	1,131	1,089	660

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

分析軸およびスコア比較時の標本誤差

■標準誤差について

2025年6月調査と過去調査（各12,000サンプル）の標本サイズの誤差幅は、信頼区間95%とし、誤差値が最大となる50%の回答スコアで計算すると約±1.3（※）となります。

2時点の差が±1.3ポイント以上あるものは、有意な差があると見なされます。

（※）小数点第二位まで表記すると1.27となるが、レポートでは小数点第一位までの表記のため統一し1.3と表記。

属性別にブレイクダウンした場合の誤差幅

I. 「社会の質」に関する人びとの評価 (2025年6月調査／2024年6月調査)

		n=		有意差
		2025年6月	2024年6月	
全体		12,000	12,000	±1.3
性別	男性	5,935	5,935	±1.8
	女性	6,065	6,065	±1.8
年代	18-29歳	1,834	1,834	±3.2
	30代	1,765	1,765	±3.3
	40代	2,302	2,302	±2.9
	50代	2,089	2,089	±3.0
	60代	1,969	1,969	±3.1
	70代	2,041	2,041	±3.1

II. 社会に対する人びとの意識の現在地 (2025年6月調査／2024年6月調査)

		n=		有意差
		2025年6月	2024年6月	
全体		12,000	12,000	±1.3
性別	男性	5,935	5,935	±1.8
	女性	6,065	6,065	±1.8
性年代	男性18-29歳	933	933	±4.5
	男性30代	896	896	±4.6
	男性40代	1,162	1,162	±4.1
	男性50代	1,043	1,043	±4.3
	男性60代	963	963	±4.5
	男性70代	938	938	±4.5
	女性18-29歳	901	901	±4.6
	女性30代	869	869	±4.7
	女性40代	1,140	1,140	±4.1
	女性50代	1,046	1,046	±4.3
	女性60代	1,006	1,006	±4.4
	女性70代	1,103	1,103	±4.2

* 比率の差の標準誤差公式

$$E = 1.96 \sqrt{p(1-p) \left(\frac{1}{n_1} + \frac{1}{n_2} \right)}$$

人びとと社会の現在地を把握 クオリティ・オブ・ソサエティ指標2025

2025年10月

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先

qsociety@dentsusoken.com

担当：山崎、中川、増田、岡田、鷺見

g-pr@group.dentsusoken.com

コーポレートコミュニケーション部

